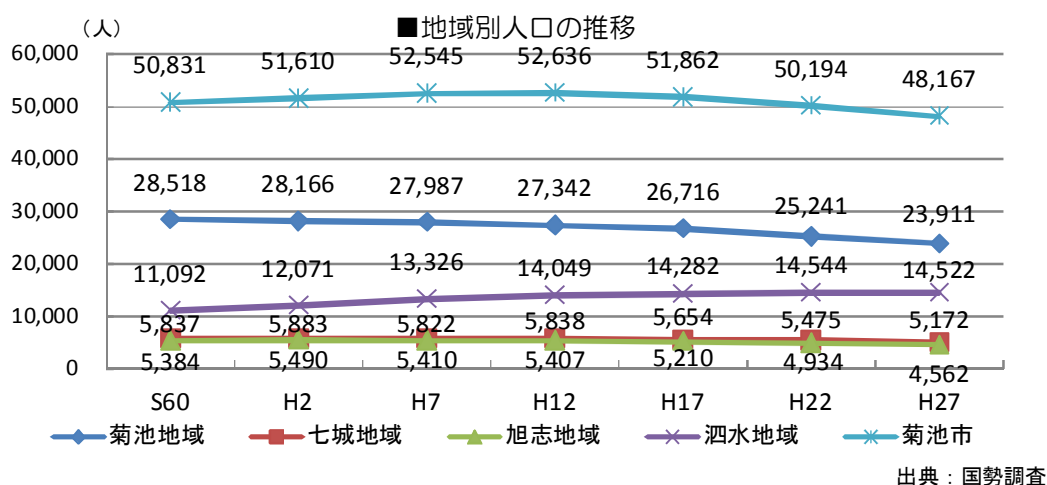
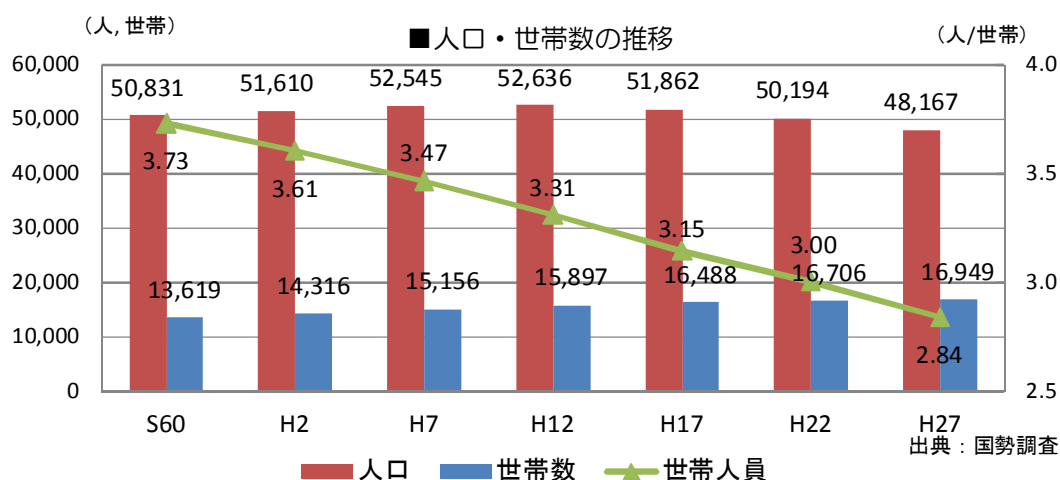

第2章 菊池市の都市構造の特性

2-1 菊池市の人口特性

(1) 現況人口

1) 総人口・世帯数・世帯人員

- ・菊池市の人口は平成12年までは増加傾向にありましたが、平成17年には減少に転じました。平成27年の国勢調査では、48,167人と5万人を下回り、減少率は-4.0%（H27/H22）と、前期（H22/H17）の-3.2%を上回り、人口減少が加速しています。
- ・旧市町村別にみると、泗水地域がほぼ横ばいで推移し、それ以外は減少傾向にあります。熊本都市圏に近い泗水地域では人口が安定的に推移し、ベッドタウンとしての性格を有しています。
- ・世帯数は増加傾向にあり、これに反比例する形で世帯人員は減少しています。平成27年は3人/世帯を割り込む2.84世帯/人となりました。



◇人口・世帯数の推移

菊池市	人口	世帯数	世帯人員
S60	50,831	13,619	3.73
H2	51,610	14,316	3.61
H7	52,545	15,156	3.47
H12	52,636	15,897	3.31
H17	51,862	16,488	3.15
H22	50,194	16,706	3.00
H27	48,167	16,949	2.84
H17/H12	-1.5%	3.7%	-5.0%
H22/H17	-3.2%	1.3%	-4.5%
H27/H22	-4.0%	1.5%	-5.4%

出典：国勢調査

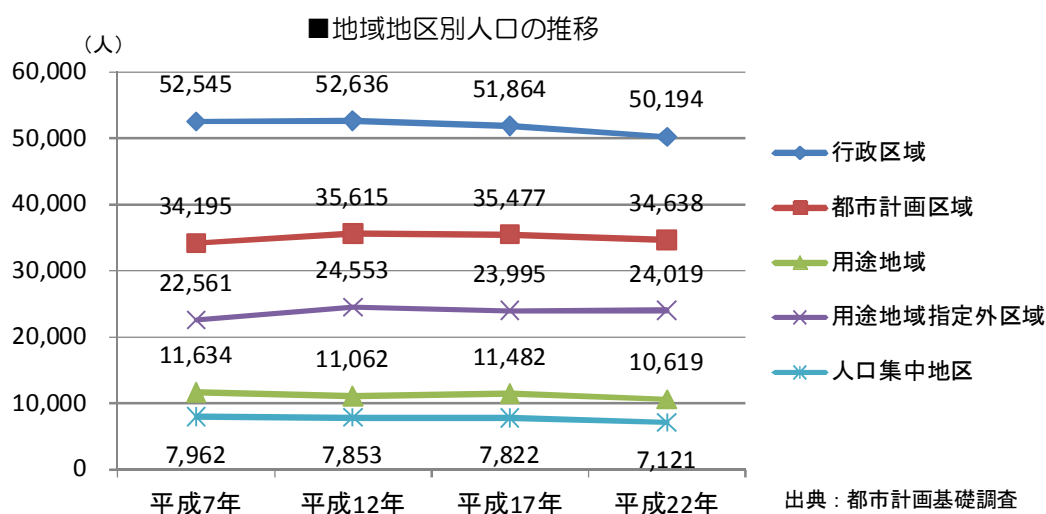
◇地域別人口の推移

菊池市	菊池地域	七城地域	旭志地域	泗水地域
S60	28,518	5,837	5,384	11,092
H2	28,166	5,883	5,490	12,071
H7	27,987	5,822	5,410	13,326
H12	27,342	5,838	5,407	14,049
H17	26,716	5,654	5,210	14,282
H22	25,241	5,475	4,934	14,544
H27	23,911	5,172	4,562	14,522
H17/H12	-2.3%	-3.2%	-3.6%	1.7%
H22/H17	-5.5%	-3.2%	-5.3%	1.8%
H27/H22	-5.3%	-5.5%	-7.5%	-0.2%

出典：国勢調査

2) 地域地区別人口

- ・地域地区別人口についてみると、行政区域は平成7年から12年まで増加し、その後減少、都市計画区域も同様に、平成7年から12年にかけて増加しましたが、その後減少しています。
- ・用途地域は、平成22年に減少に転じ、これに代わって用途地域外が増加傾向にあります。人口集中地区(DID)は近年減少が続いています。
- ・中心市街地や用途地域（いずれも旧菊池市中心部）での人口減少傾向と、泗水地域を中心とする用途地域外での人口増加傾向が進んでおり、用途地域指定がない地区での人口増加により、土地利用の混在化が進むことが懸念されます。



◇地域地区別人口の推移

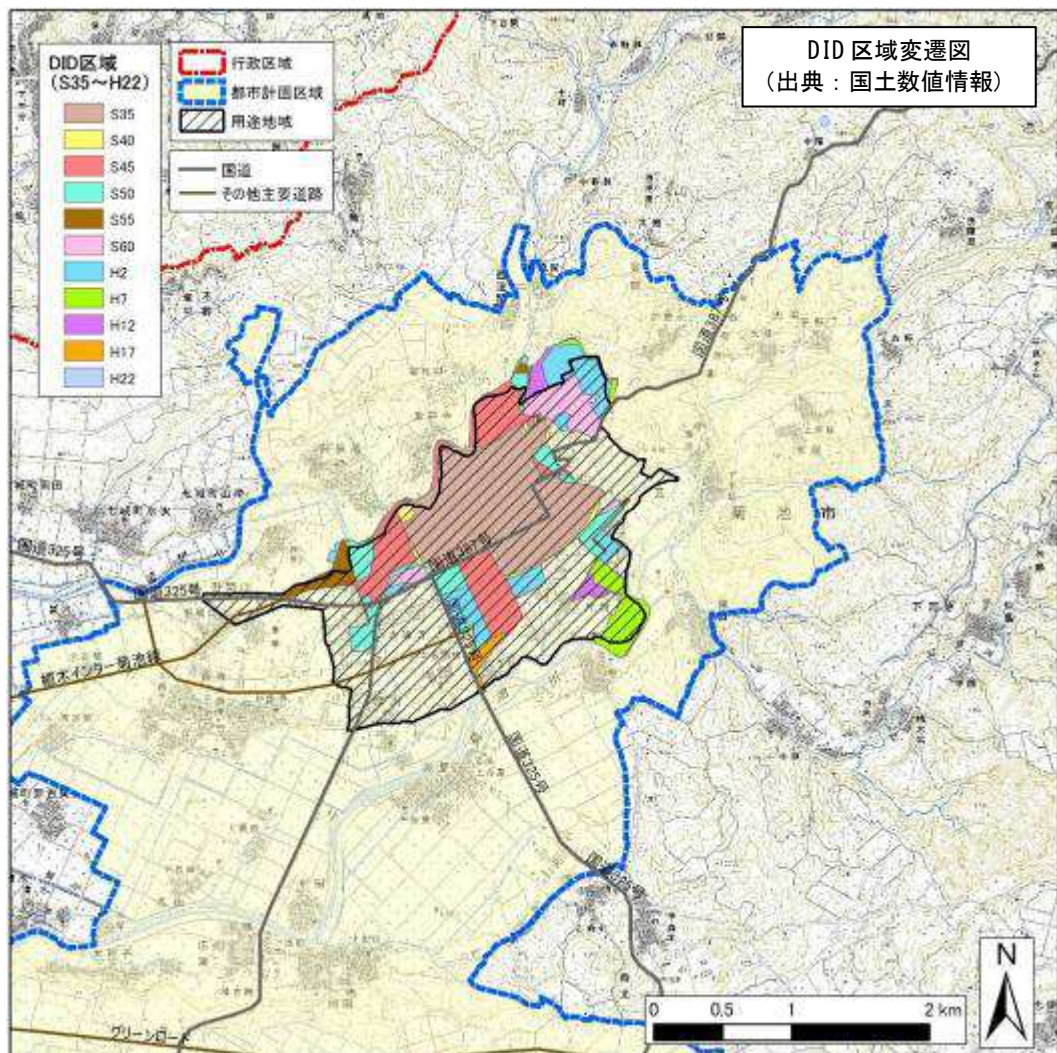
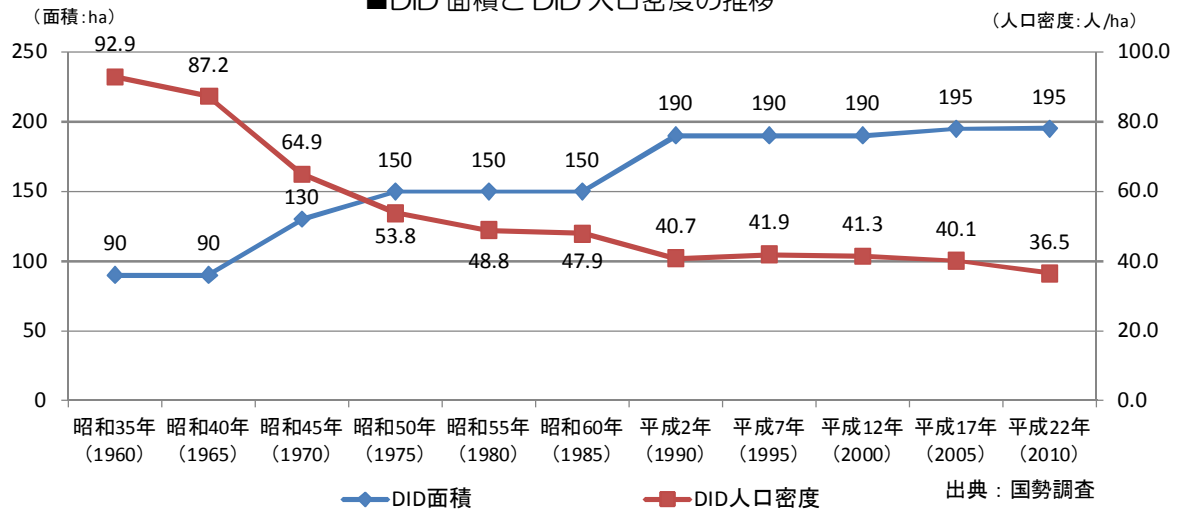
区 域	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	H17/H12	H22/H17
行政区域	52,545	52,636	51,864	50,194	-1.5%	-3.2%
都市計画区域	34,195	35,615	35,477	34,638	-0.4%	-2.4%
用途地域	11,634	11,062	11,482	10,619	3.8%	-7.5%
用途地域指定外区域	22,561	24,553	23,995	24,019	-2.3%	0.1%
人口集中地区	7,962	7,853	7,822	7,121	-0.4%	-9.0%

出典：都市計画基礎調査

3) 人口集中地区(DID)面積、人口密度、

- ・菊池市のDID(人口集中地区)は、用途地域が指定された菊池中心市街地にのみ指定されています。DID面積は昭和45年頃と平成2年頃に大きく増加し、その後はほぼ定常状態で現在に至っており、平成22年で195haの面積となっています。
- ・DID人口密度は、DID面積の拡大とDID人口の減少で、減少傾向にあり、平成22年には40人/haを割り込み、36.5人/haとなりました。DIDの指定要件の目安が40人/haであり、DIDの縮小という可能性も見えてきました。

■DID 面積と DID 人口密度の推移

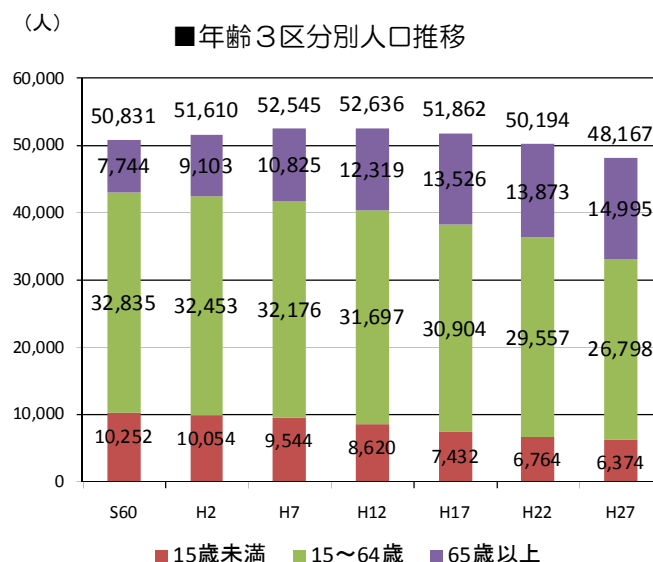


4) 年齢別人口

① 3階級別人口

- ・ 65 歳以上人口の増加と 15 歳未満人口の減少という少子高齢化が続いています。平成 27 年では菊池市の高齢化率（65 歳以上人口率）は 30.9%と、30%を超えました。熊本県全体（28.8%）より 2.1%高くなっています。

注) 65 歳以上人口には年齢不詳を含む。



◇ 年齢3区分別人口構成比（菊池市、熊本県）

菊池市	15歳未満	15～64歳	65歳以上
S60	20.2%	64.6%	15.2%
H2	19.5%	62.9%	17.6%
H7	18.2%	61.2%	20.6%
H12	16.4%	60.2%	23.4%
H17	14.3%	59.6%	26.0%
H22	13.4%	58.9%	27.6%
H27	13.3%	55.8%	30.9%

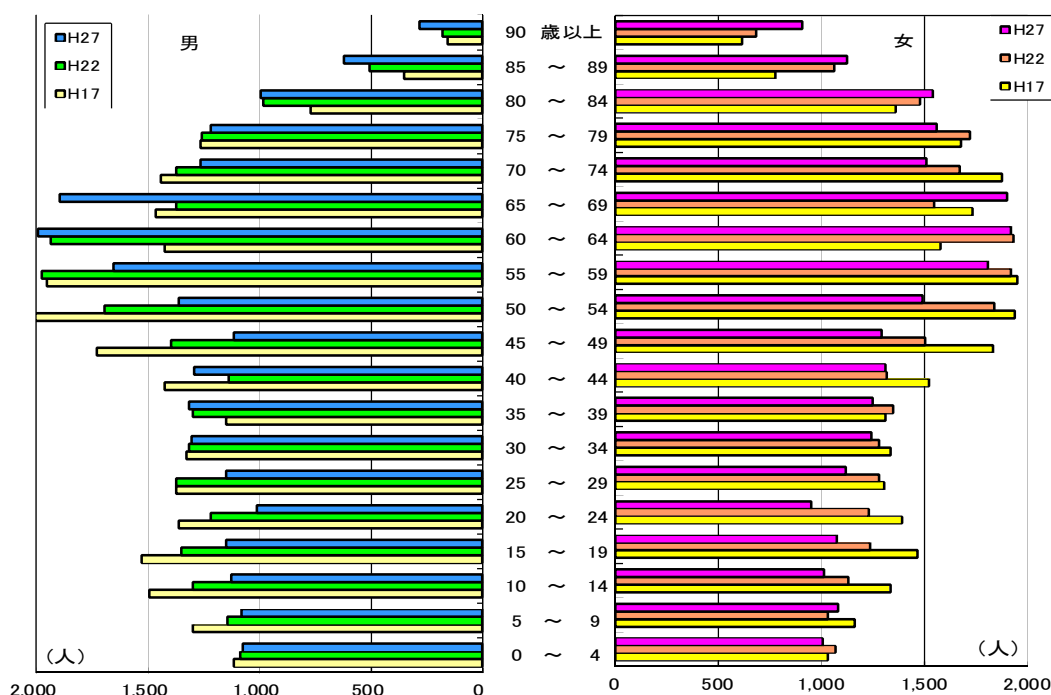
熊本県	15歳未満	15～64歳	65歳以上
S60	21.2%	65.7%	13.2%
H2	19.3%	65.1%	15.4%
H7	17.3%	64.3%	18.3%
H12	15.5%	63.1%	21.3%
H17	14.3%	61.8%	23.7%
H22	13.7%	60.2%	25.5%
H27	13.6%	57.6%	28.8%

出典：国勢調査

② 5歳階級別人口

- ・ 平成 17 年から平成 27 年の 5 歳階級別人口の推移をみると、24 歳以下の若年層及び 45 歳～54 歳人口が大きく減少しています。
- ・ 一方 30 歳～39 歳は、近年ほぼ横ばいです。
- ・ 60～69 歳の人口増が大きく、また 80 歳以上人口は着実に増加傾向にあります。
- ・ 人口の少子化、高齢化が着実に進行しています。

■ 男女別 5 歳階級別人口（平成 17 年～27 年）

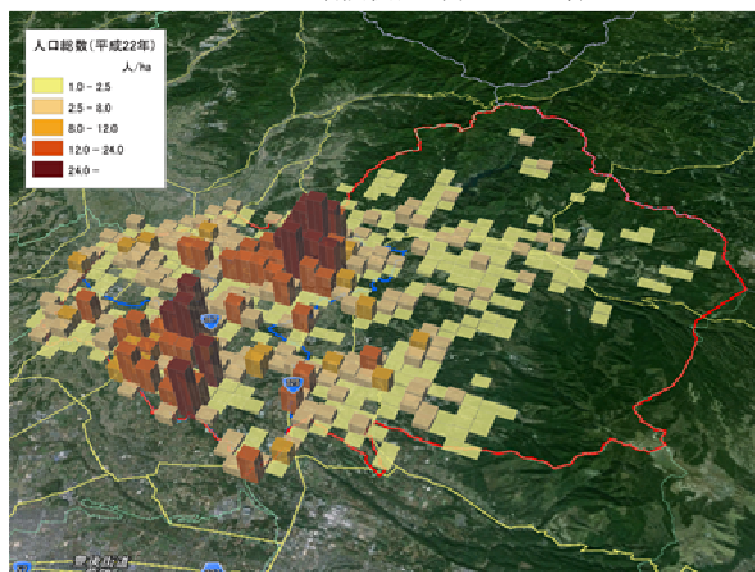


5) 500m メッシュ人口（平成 22 年）

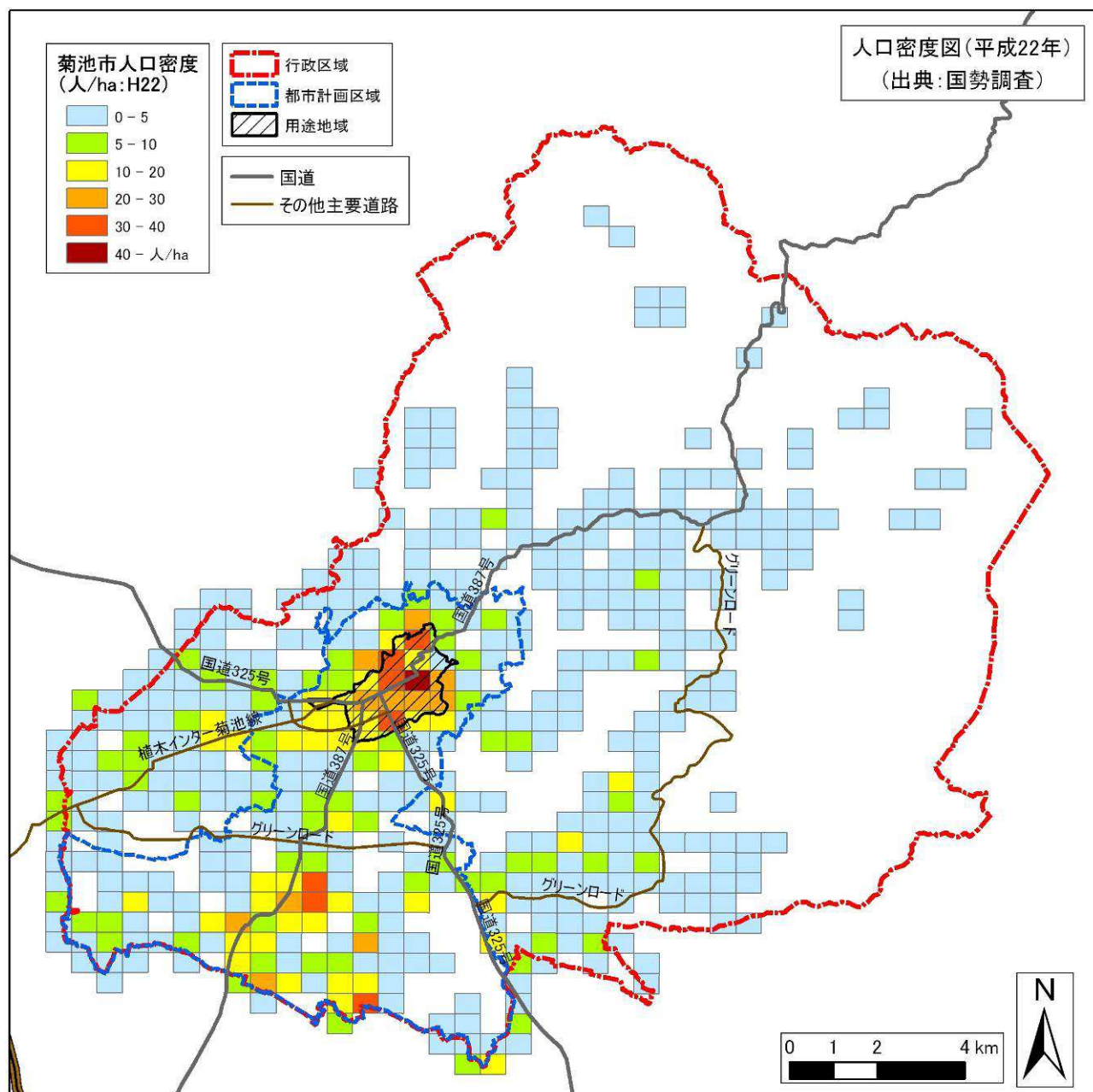
①人口密度

- ・菊池市の人口集積の特徴は、右図に示すように、隈府地区と泗水地域・国道 387 号沿道に 2 つの山があることです。
- ・用途地域内は概ね 20～40 人/ha 以上の人口密度を示し、用途地域の外延部でも 10～20 人/ha の地区が見られます。泗水地域中心部や国道 387 号沿道では用途地域並の人口集積地区が見られます。

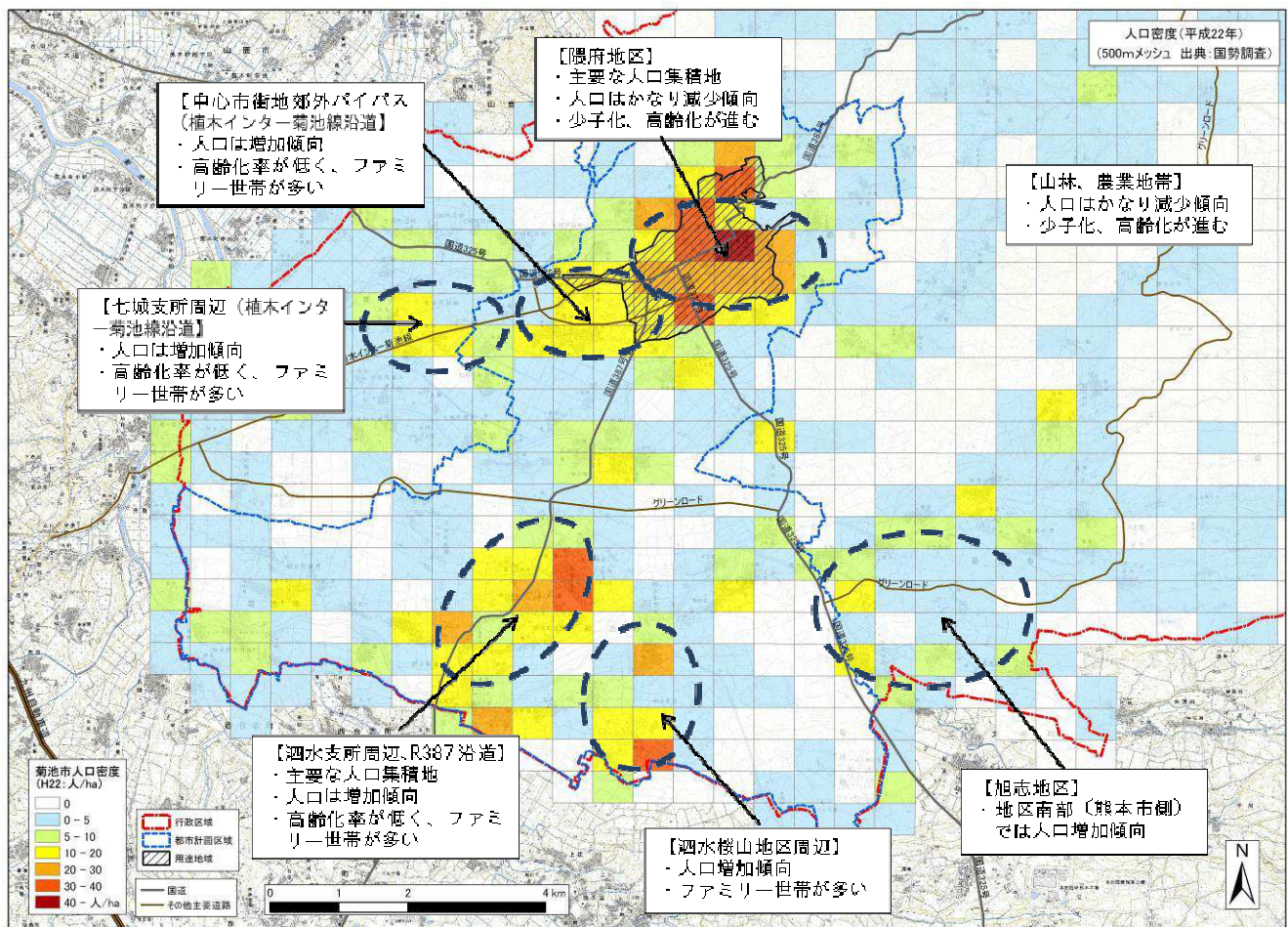
■人口集積状況（平成 22 年）



出典：国勢調査



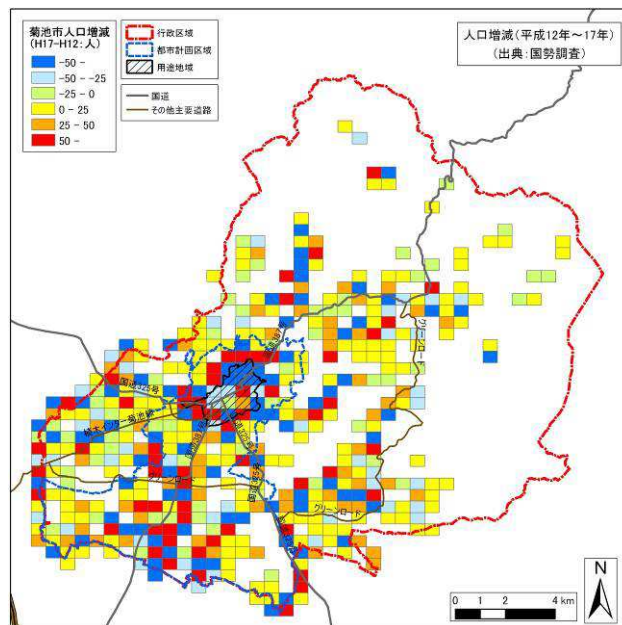
■人口密度の特徴（平成 22 年）



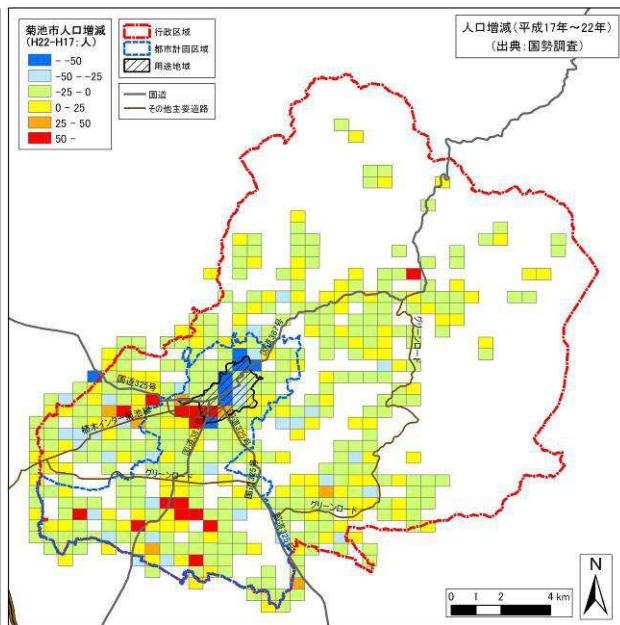
②人口増減（平成12年～平成17年と平成17年～平成22年の比較）

- ・平成12年～17年の人口増減と平成17年～22年の人口増減を比較すると、平成17年～22年は人口が大きく減少するメッシュと大きく増加するメッシュ数が少なくなり、人口増減の平準化傾向が見られます。

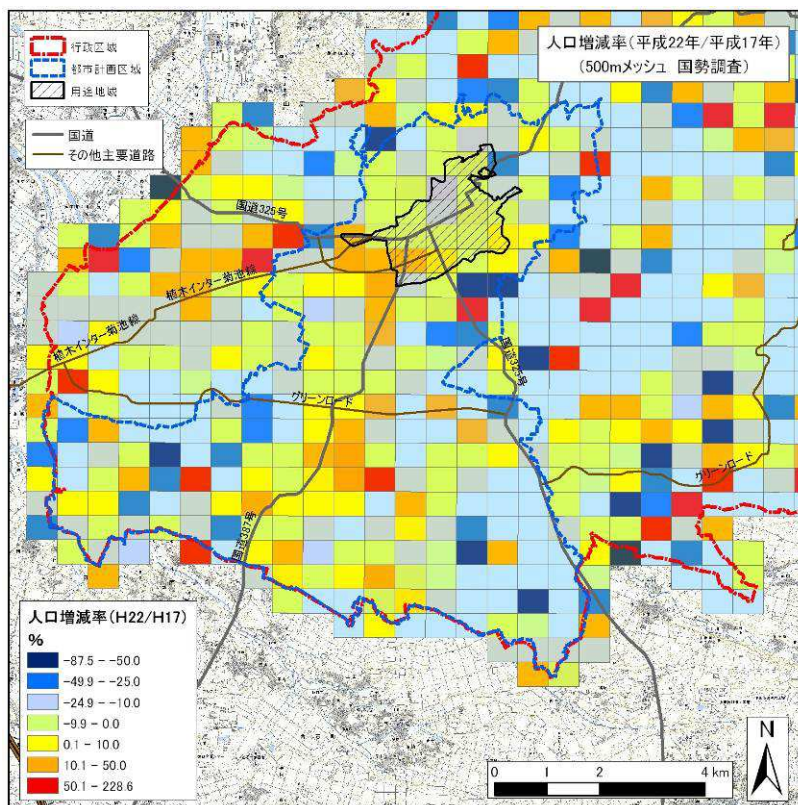
■人口増減数（全市）（平成12年～17年）



■人口増減数（全市）（平成17年～22年）



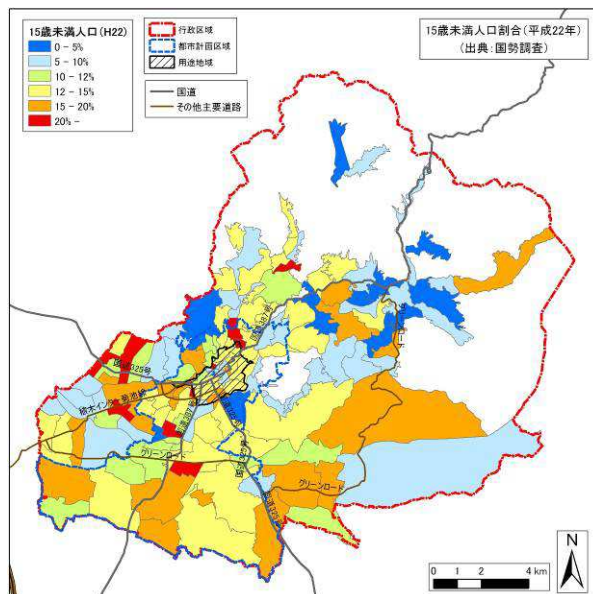
- ・主要地区の平成17年～22年の人口増減を比較すると、隈府地区や幹線道路から離れる地区での人口減少傾向が見られます。
- ・逆に人口増加傾向は、植木インター菊池線バイパス沿道、七城支所周辺、泗水富の原地区周辺、国道387号沿道周辺で見られます。



③年齢3区分別人口（小地域）

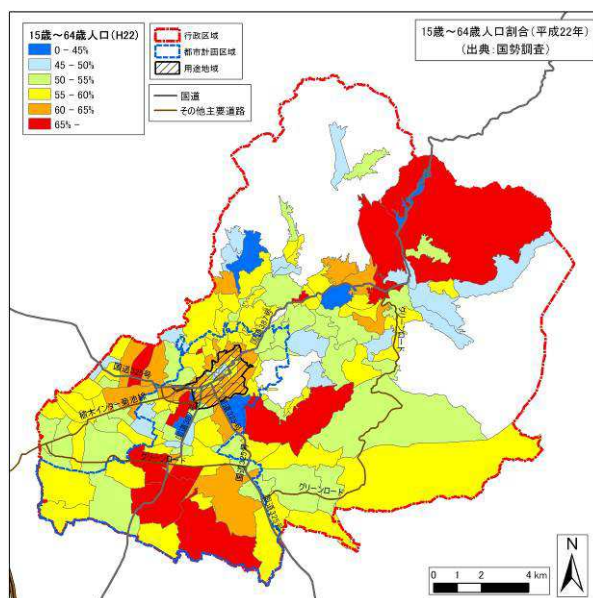
【年少人口割合（15歳未満人口）】

- ・用途地域が指定された中心部の限府地区は年少人口率が低く、また郊外部や水源地区、迫水地区などの山間部で低くなっています。
- ・一方、泗水地域や七城地域の一部で比較的高い地区が見られます。



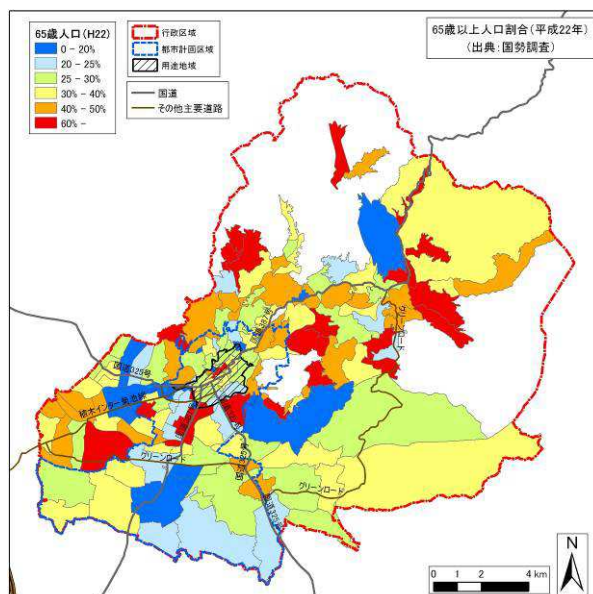
【生産年齢人口割合（15～65歳人口）】

- ・用途地域が指定された中心部の限府地区や泗水地域などが比較的高くなっています。
- ・山地部にも高い割合の地区が見られますが、絶対数は多くない状況です。
- ・周辺の田園地帯等が比較的生産年齢人口割合が低くなっています。



【65歳以上人口割合】

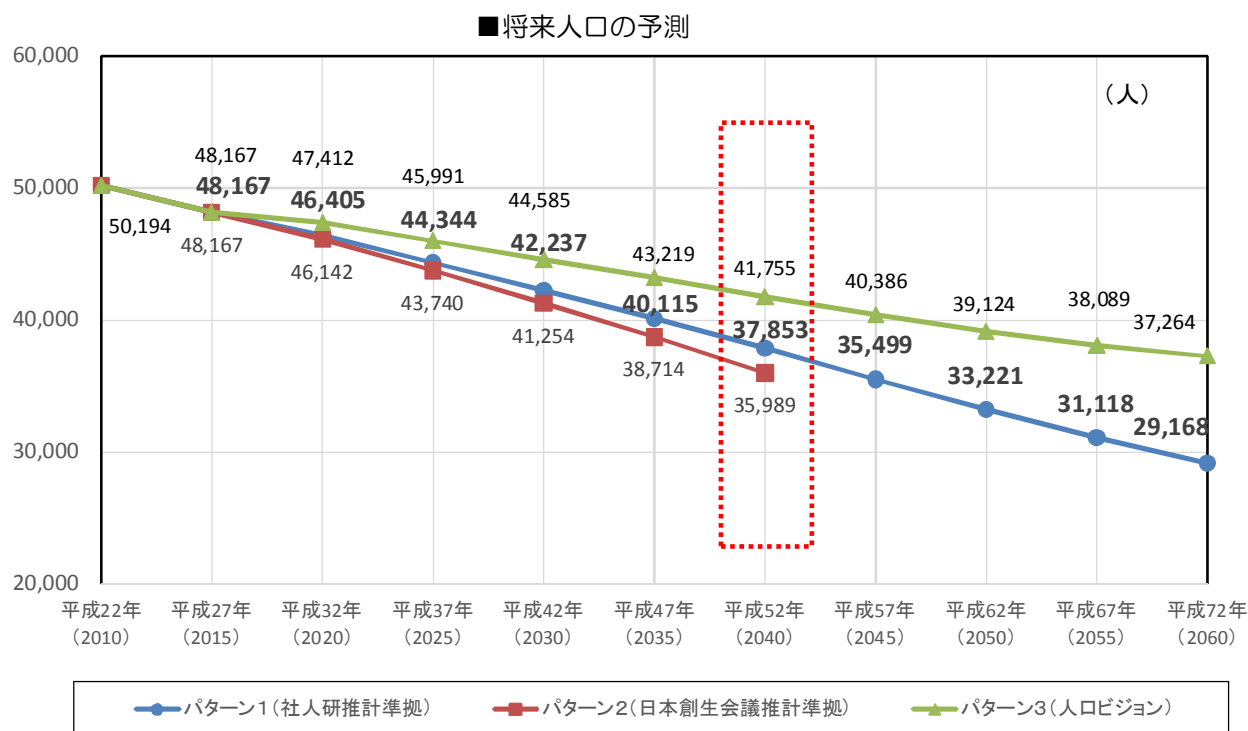
- ・全体的に山林、農業地帯で高い傾向が見られます。
- ・用途地域縁辺部、国道387号沿道、泗水地域、七城地域中心部などは低い傾向が見られます。



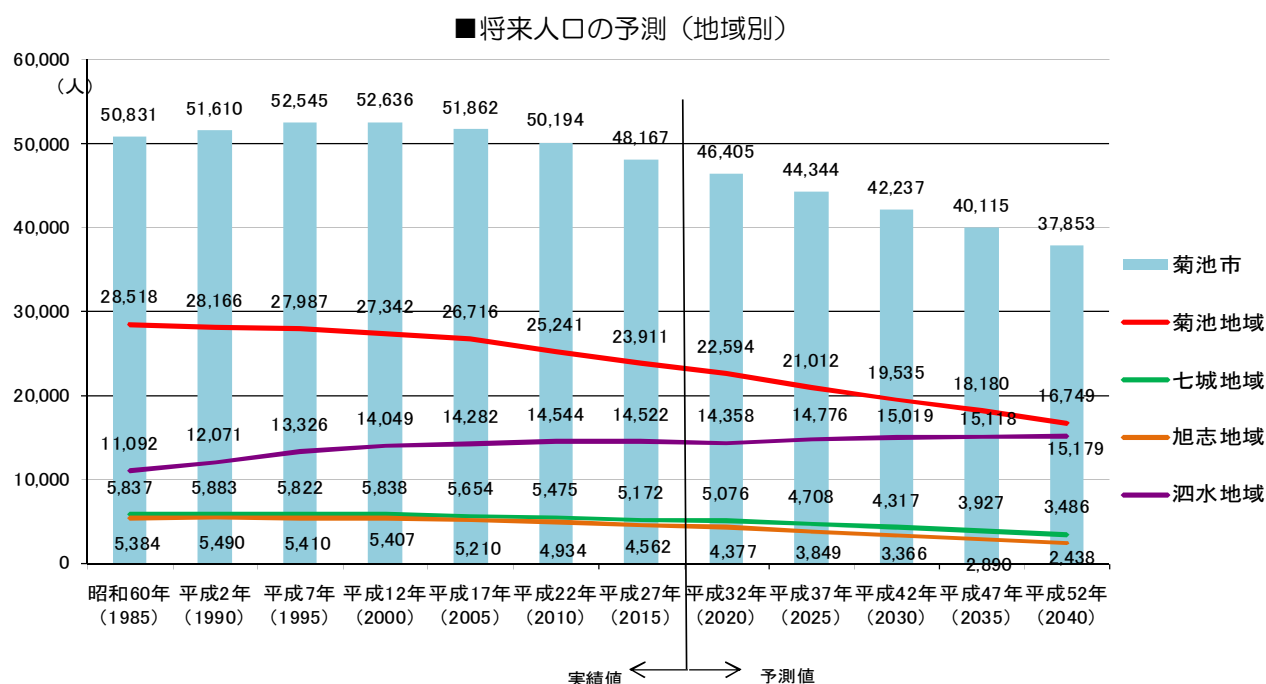
(2) 将来人口

1) 総人口（平成 52 年（2040）の将来予測人口）

- ・社人研（国立社会保障・人口問題研究所）の予測に基づく菊池市の将来人口についてみると、平成 52 年（2040）は 37,853 人で、平成 22 年の 50,194 人に対し、約 12,340 人、約 25%の減少となっています。
- ・菊池市の人口ビジョンにおいては、合計特殊出生率の上昇や社会動態を±0にするなどの取組みにより、平成 52 年の将来目標人口を 41,755 人と設定しています。これは、社人研の推計値より約 3,900 人多く設定されています。



- ・旧 4 市町村別に将来人口を予測すると、旭志地域が最も人口減少が大きく、続いて七城地域、菊池地域となります。泗水地域は 2040 年までは人口増加が予測されます。



出典：＊現況…国勢調査 ＊将来…社人研推計を基に予測

◇将来人口の地域別予測

	菊池市	菊池地域	七城地域	旭志地域	泗水地域	熊本県
昭和60年(1985)	50,831	28,518	5,837	5,384	11,092	1,837,747
平成2年(1990)	51,610	28,166	5,883	5,490	12,071	1,840,326
平成7年(1995)	52,545	27,987	5,822	5,410	13,326	1,859,793
平成12年(2000)	52,636	27,342	5,838	5,407	14,049	1,859,344
平成17年(2005)	51,862	26,716	5,654	5,210	14,282	1,842,233
平成22年(2010)	50,194	25,241	5,475	4,934	14,544	1,817,426
平成27年(2015)	48,167	23,911	5,172	4,562	14,522	1,786,170
平成32年(2020)	46,405	22,594	5,076	4,377	14,358	1,666,017
平成37年(2025)	44,344	21,012	4,708	3,849	14,776	1,603,413
平成42年(2030)	42,237	19,535	4,317	3,366	15,019	1,537,678
平成47年(2035)	40,115	18,180	3,927	2,890	15,118	1,467,142
平成52年(2040)	37,853	16,749	3,486	2,438	15,179	

出典：社人研推計を基に、500mメッシュでのコーホート推計によりメッシュ別将来人口を推計

◇将来人口指標（平成27年を100とした）

	菊池市	菊池地域	七城地域	旭志地域	泗水地域	熊本県
昭和60年(1985)	106	119	113	118	76	103
平成2年(1990)	107	118	114	120	83	103
平成7年(1995)	109	117	113	119	92	104
平成12年(2000)	109	114	113	119	97	104
平成17年(2005)	108	112	109	114	98	103
平成22年(2010)	104	106	106	108	100	102
平成27年(2015)	100	100	100	100	100	100
平成32年(2020)	96	94	98	96	99	93
平成37年(2025)	92	88	91	84	102	90
平成42年(2030)	88	82	83	74	103	86
平成47年(2035)	83	76	76	63	104	82
平成52年(2040)	79	70	67	53	105	

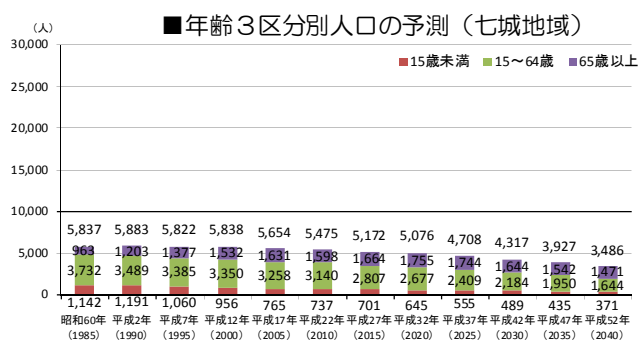
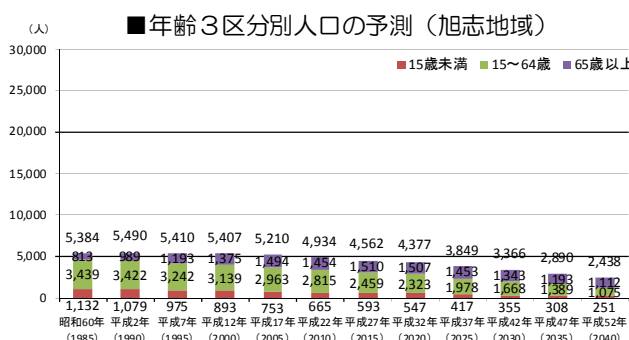
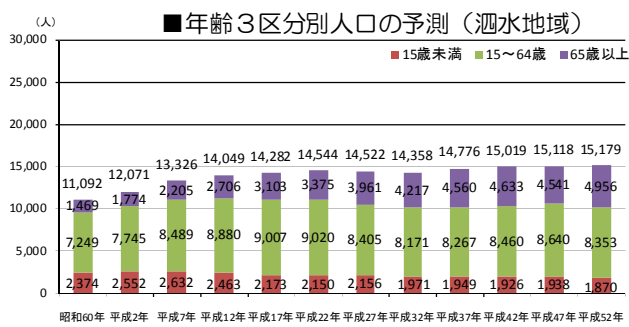
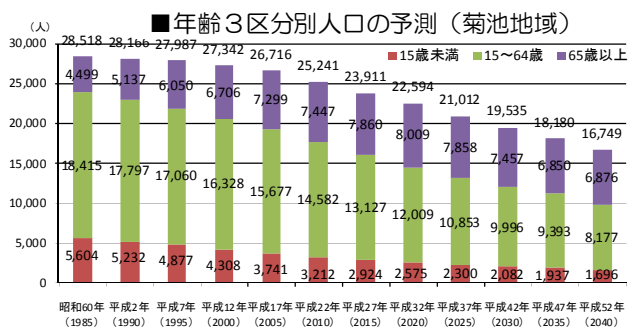
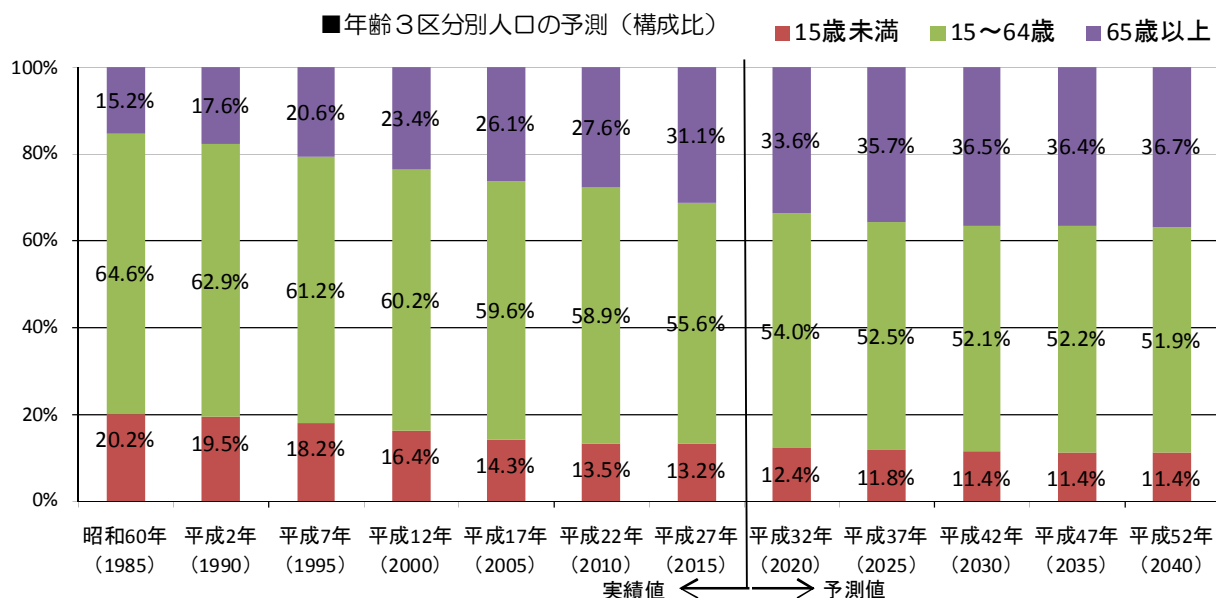
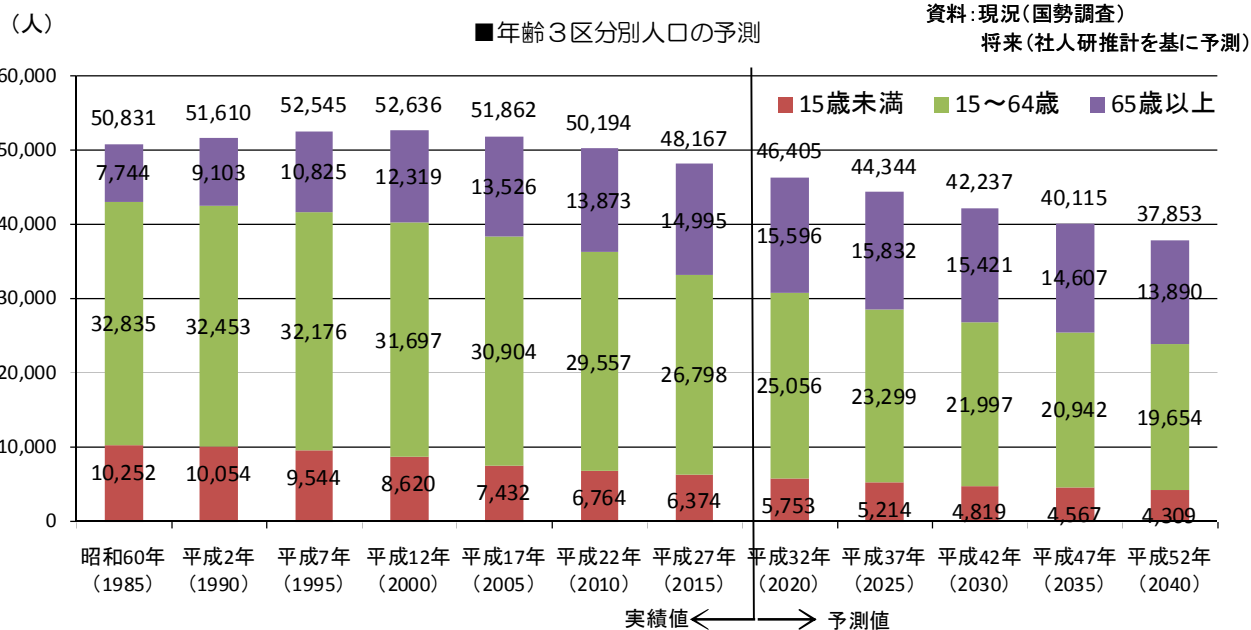
2) 年齢3区分別人口

- ・菊池市全体では、2040年には65歳以上人口率が36.7%と、2015年の30.7%に対し、約6%増加します。15歳未満人口は、2040年には11.4%で、2015年の12.9%より1.5%減少します。少子化は頭打ちの傾向にありますが、高齢化は着実に進行していきます。
- ・旧4市町村別にみると、高齢化が最も進むのは旭志地域で、2040年には65歳以上人口率は45.6%と50%に近い高齢化率となると予測されます。最も低い泗水地域においても2040年は32.7%と、現在の菊池市全体より高い数字となります。
- ・高齢者が安心して暮らせる地域社会の形成が特に必要とされています。

◇年齢別地域別将来人口構成比の予測

	菊池市			菊池地域			七城地域			旭志地域			泗水地域		
	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
平成22年(2010)	13.4%	58.9%	27.6%	12.7%	57.8%	29.5%	13.5%	57.4%	29.2%	13.5%	57.1%	29.5%	14.8%	62.0%	23.2%
平成27年(2015)	12.9%	56.4%	30.7%	12.2%	55.4%	32.5%	12.8%	55.0%	32.2%	12.6%	56.4%	31.0%	14.0%	59.1%	26.9%
平成32年(2020)	12.4%	54.0%	33.6%	11.4%	53.2%	35.4%	12.7%	52.7%	34.6%	12.5%	53.1%	34.4%	13.7%	56.9%	29.4%
平成37年(2025)	11.8%	52.5%	35.7%	10.9%	51.7%	37.4%	11.8%	51.2%	37.0%	10.8%	51.4%	37.8%	13.2%	55.9%	30.9%
平成42年(2030)	11.4%	52.1%	36.5%	10.7%	51.2%	38.2%	11.3%	50.6%	38.1%	10.5%	49.6%	39.9%	12.8%	56.3%	30.8%
平成47年(2035)	11.4%	52.2%	36.4%	10.7%	51.7%	37.7%	11.1%	49.7%	39.3%	10.7%	48.1%	41.3%	12.8%	57.1%	30.0%
平成52年(2040)	11.4%	51.9%	36.7%	10.1%	48.8%	41.1%	10.6%	47.2%	42.2%	10.3%	44.1%	45.6%	12.3%	55.0%	32.7%

出典：社人研推計を基に、500mメッシュでのコーホート推計によりメッシュ別将来人口を推計

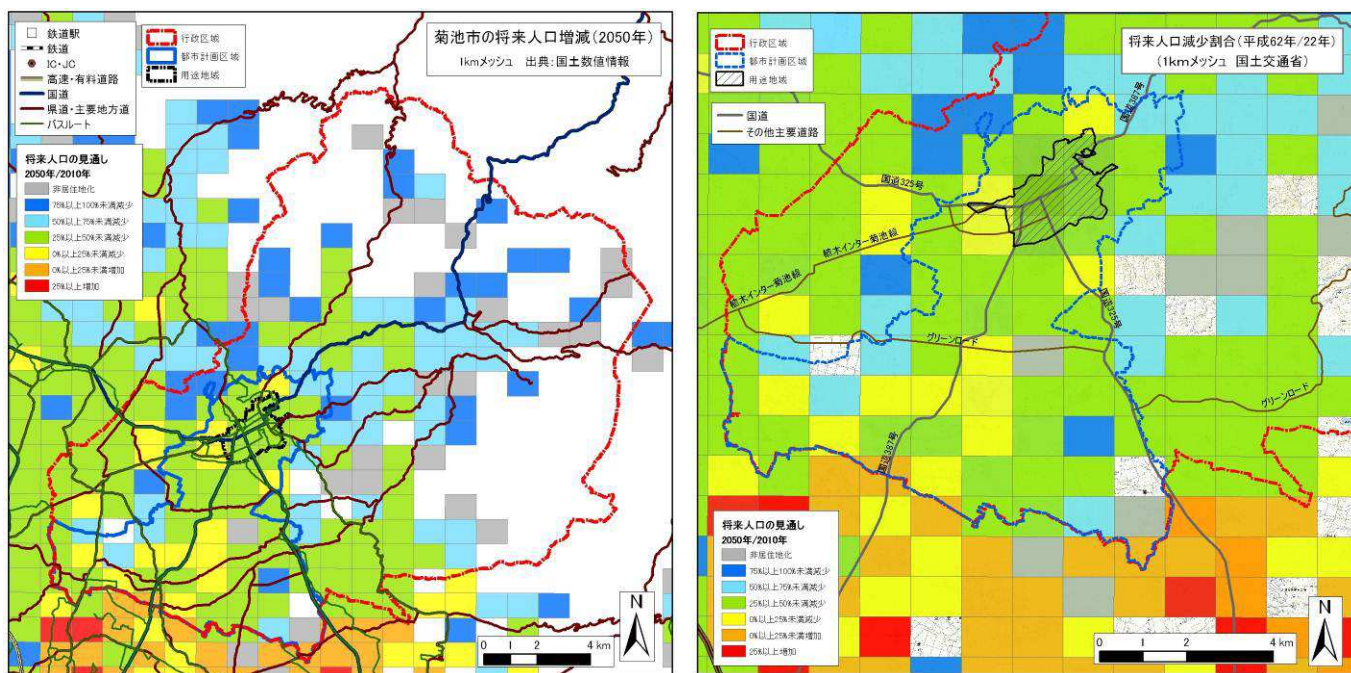


3) メッシュ別将来人口分布

①将来人口増減

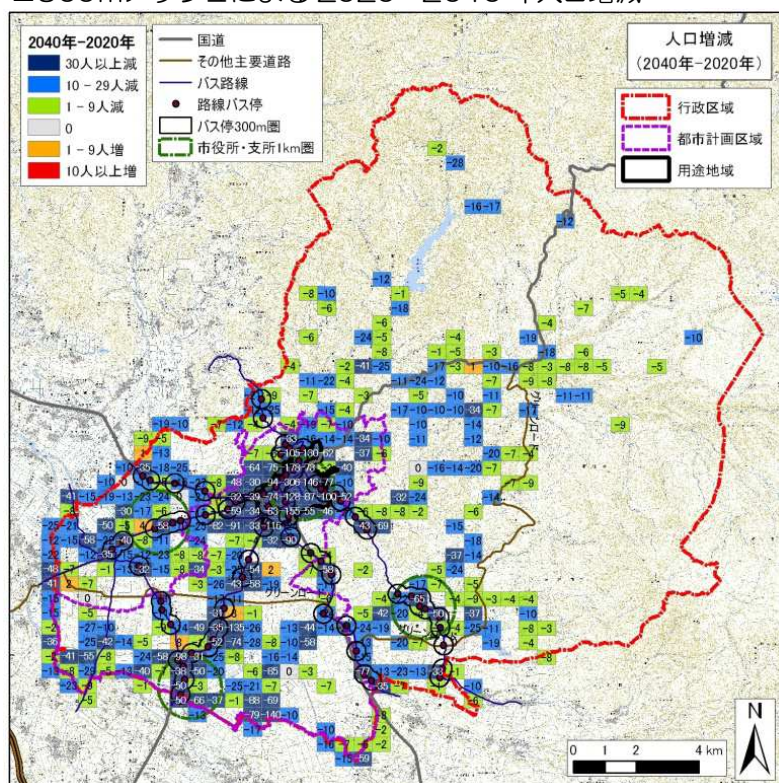
- ・国土交通省が「国土のグランドデザイン」の参考資料として推計した 2050 年 1 kmメッシュ人口によれば、菊池市の人口は 33, 221 人で、平成 22 年の約 2/3 に減少します。
- ・図中のグレイは非居住地化、ブルーは 2050 年にかけて現在より 75%以上人口が減少すると予測される地域であり、中山間部や田園地帯に見られます。これらの多くは都市計画区域外に分布しています。

■1 kmメッシュによる 2050 年人口予測値(国土交通省)



- ・2020 年～2040 年の人口増減についてみると、ほぼ全域で人口が減少し、特に限府地区、国道 387 号沿道など、現在人口集積の多い地区での減少量が多く予測されます。

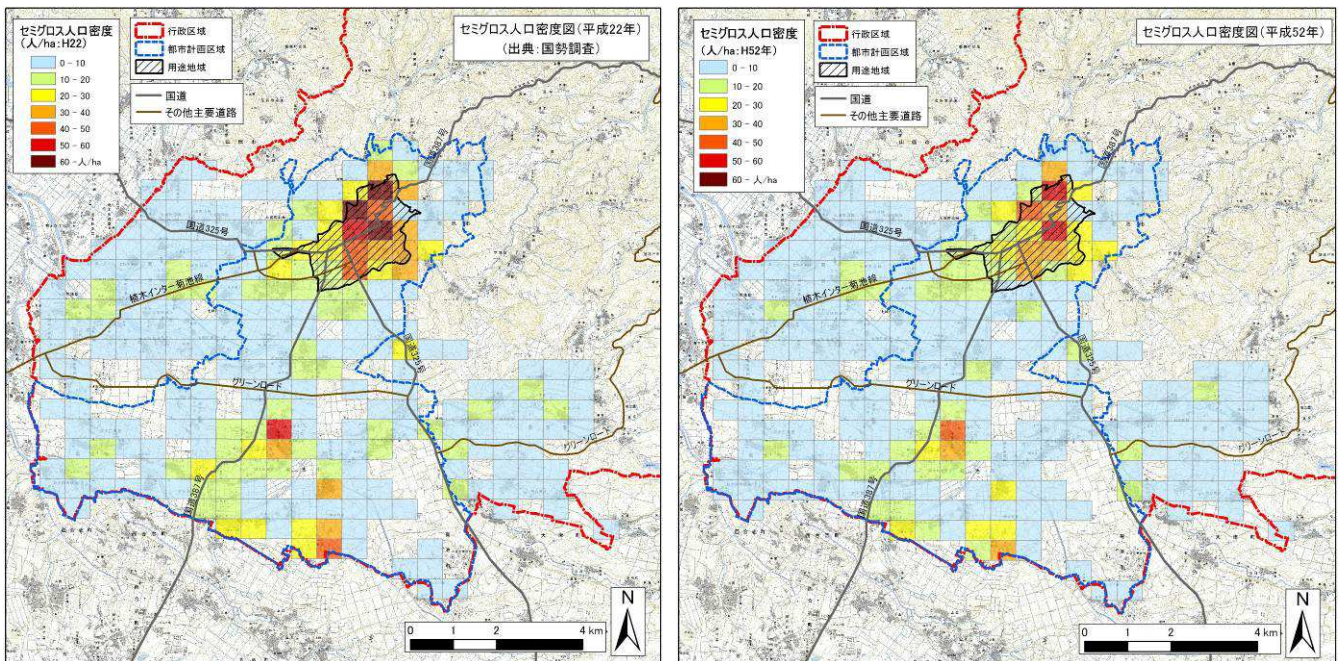
■500mメッシュによる 2020～2040 年人口増減



②メッシュ別セミグロス人口密度

- 人口減少、少子高齢化が進む中、都市地域においては人々がある程度まとまって居住することが望めます。そこで、現在の人口集積状況を踏まえた将来の人口集積の目標を検討するため、実際に人が住める場所（可住地）の人口密度を算出しました。可住地とは、住宅、商業、工業など都市的土地利用のされた宅地、及び宅地化される可能性のある田畑としました。すなわち、道路や公園などの都市施設用地や、山林などは将来にわたり宅地化されないものとしてしました。これをセミグロス人口密度と呼びます。
- これを 500m メッシュで見ると、菊池中心市街地で 60 人/ha を超えるメッシュが見られ、その周辺では 40 人/ha を超えるメッシュが多くなっています。
- また、泗水地域の菊池農業高校周辺、南部の合志市境界部で 40 人/ha を超えるメッシュが見られます。

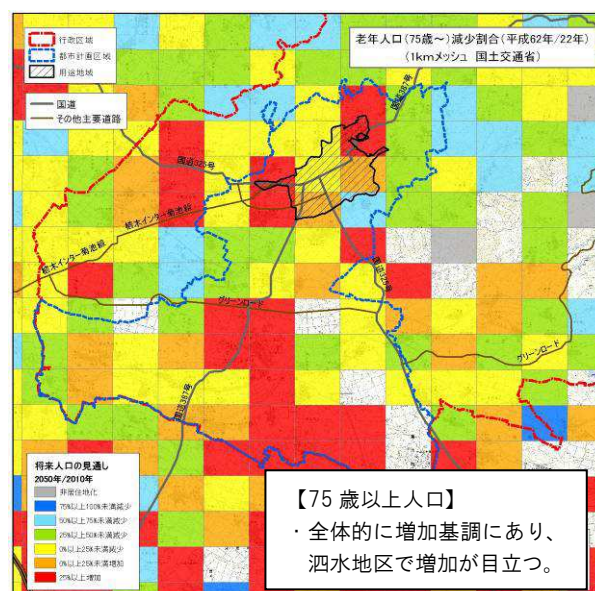
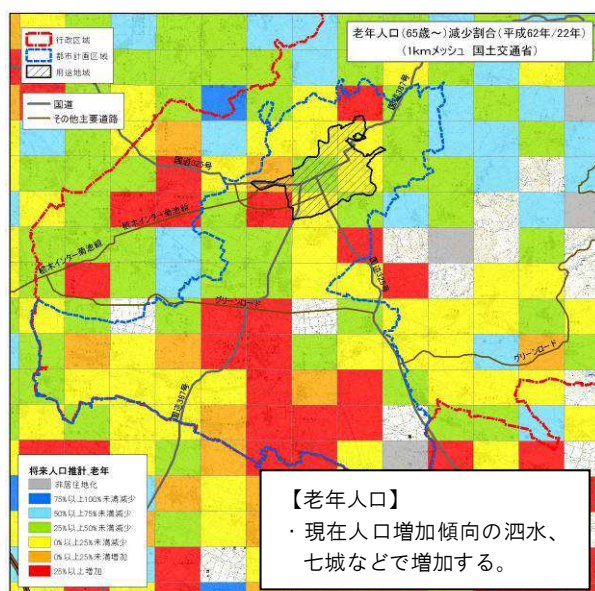
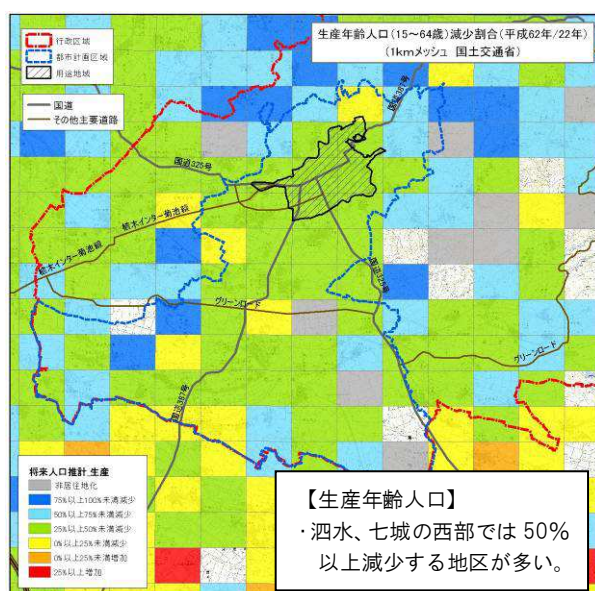
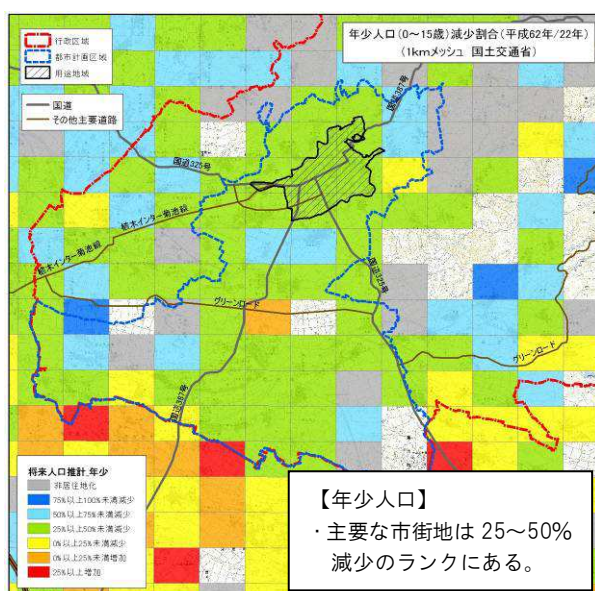
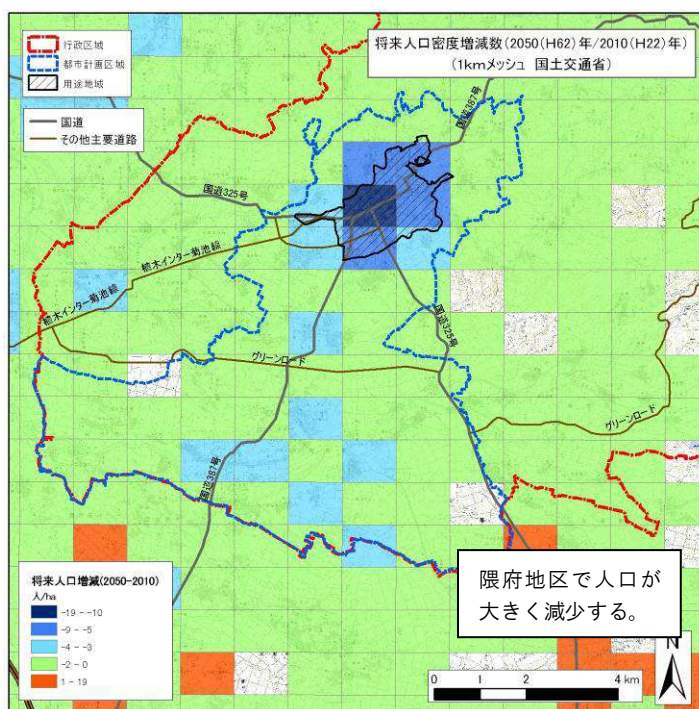
■500mメッシュによるセミグロス人口密度



③メッシュ（1km）別年齢3区分別

人口増減（H62/H22）

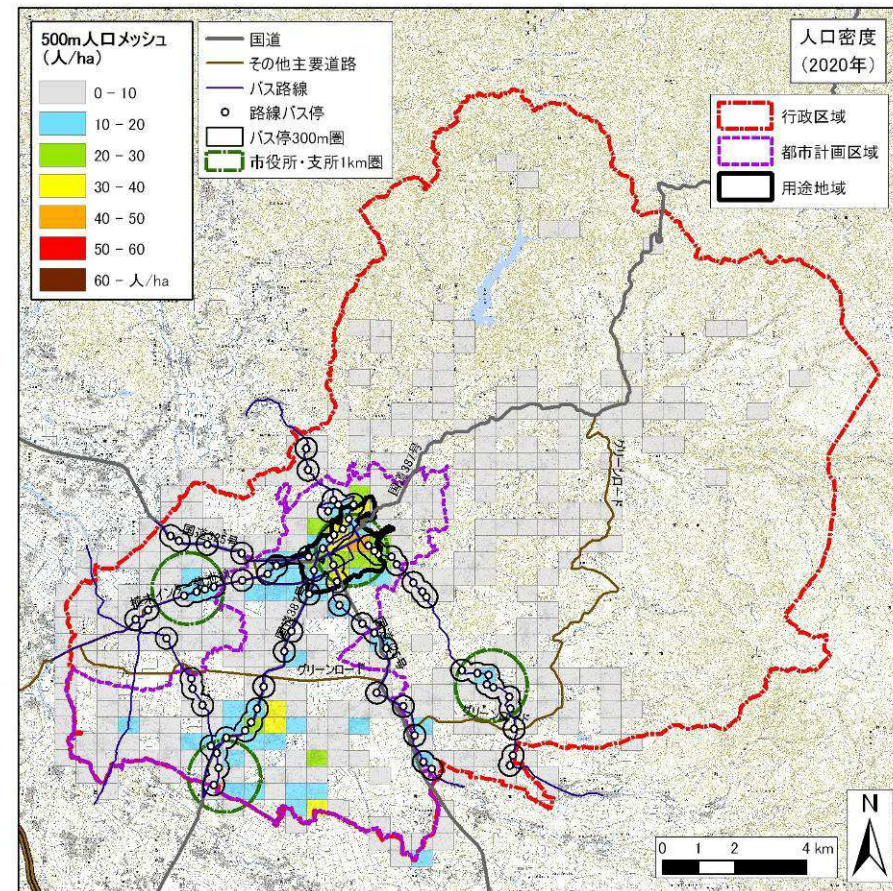
- ・平成 62 年と平成 22 年の年齢 3 区分別人口について 1km メッシュで比較すると、年少人口はほぼすべてのメッシュで 25%以上減少します。生産年齢人口もほぼすべてで 25%以上減少します。
- ・65 歳以上は、現在人口が増加している泗水地域を中心に 25%以上増加し、75 歳以上の後期高齢者も全体的に 25%以上増加することが予測されます。



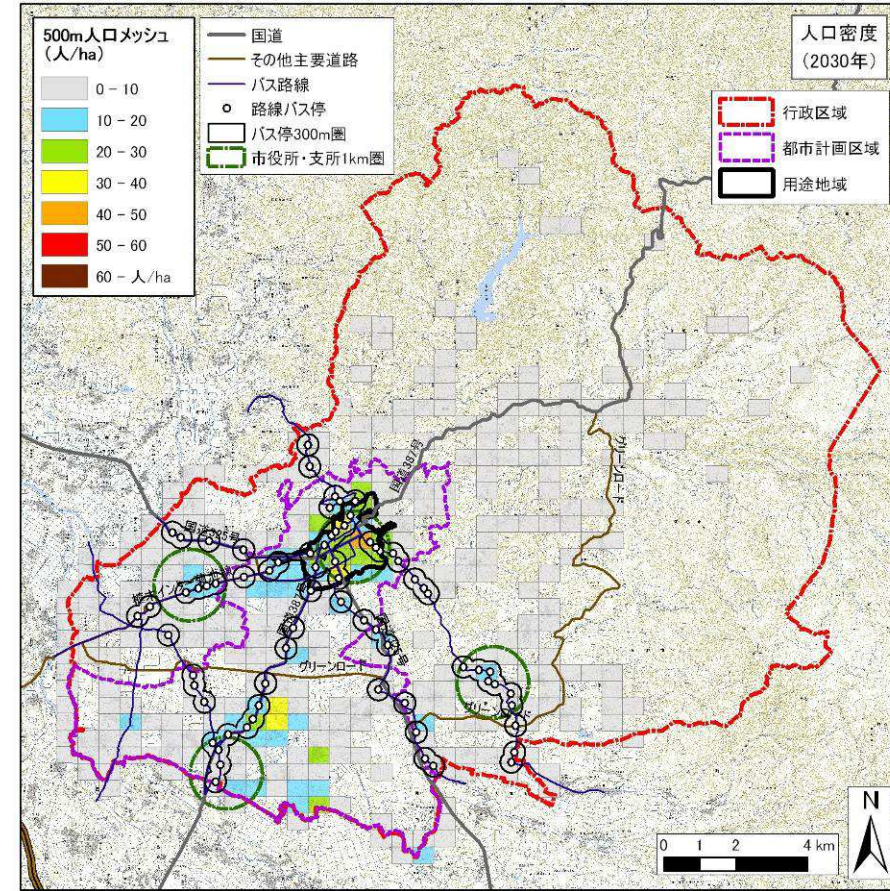
④年齢区分別人口の将来人口の変化予測

【将来全人口予測（500m メッシュ）】

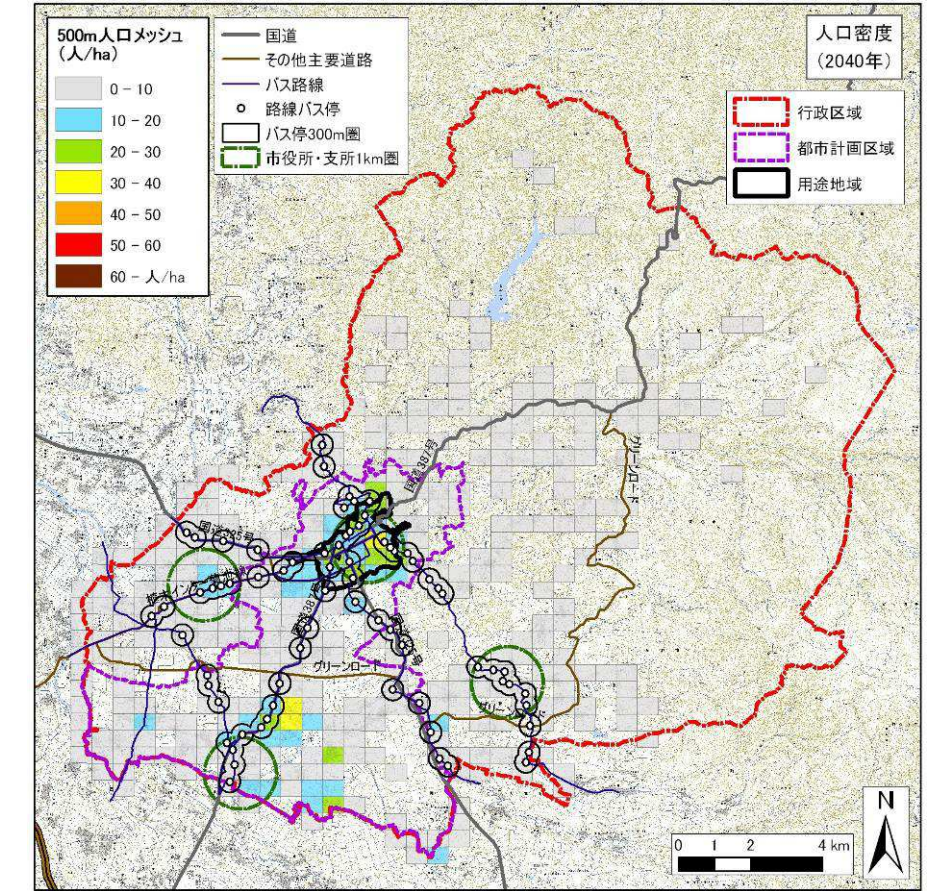
■2020年 全市（46,405人）



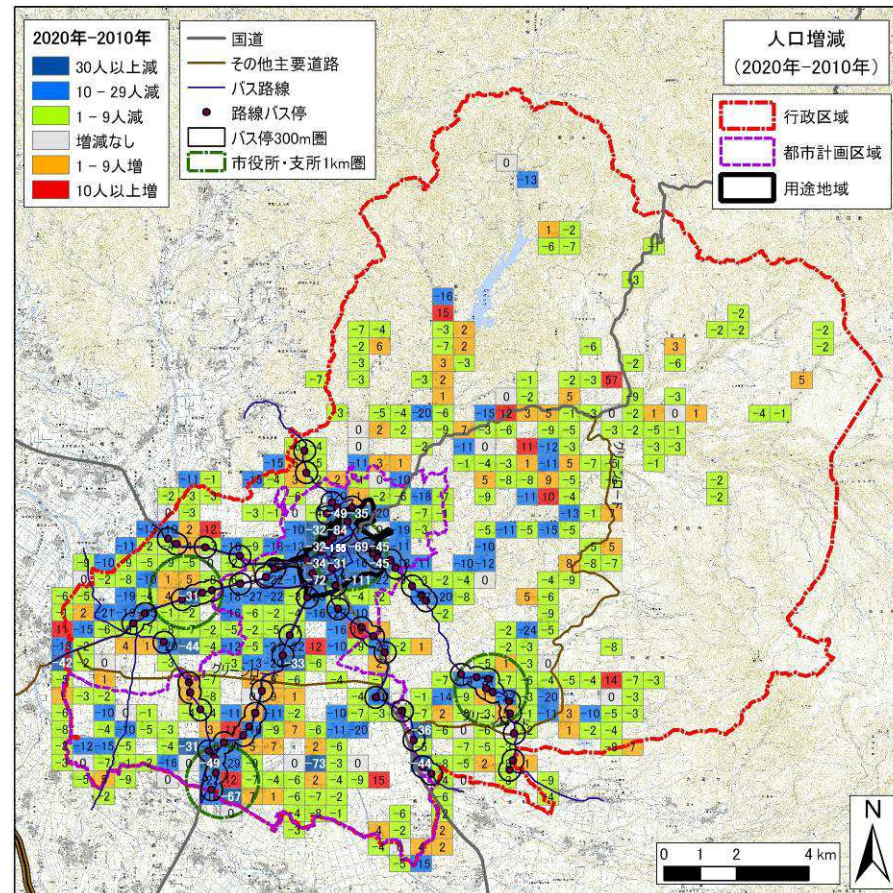
■2030年 全市（42,237人）



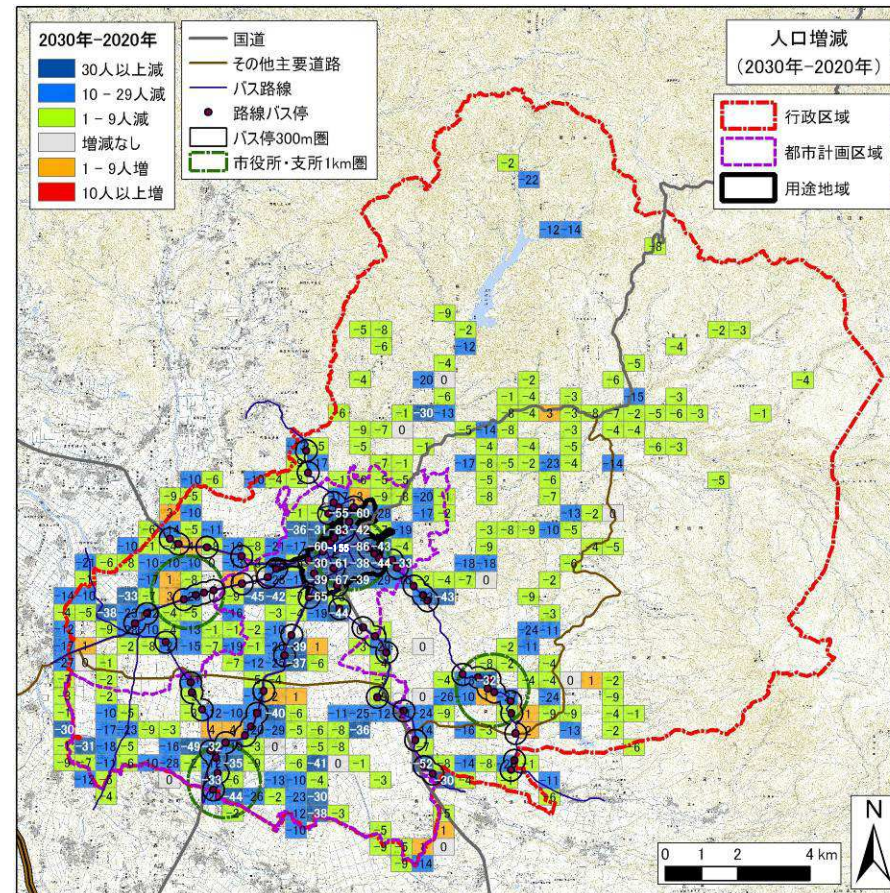
■2040年 全市（37,853人）



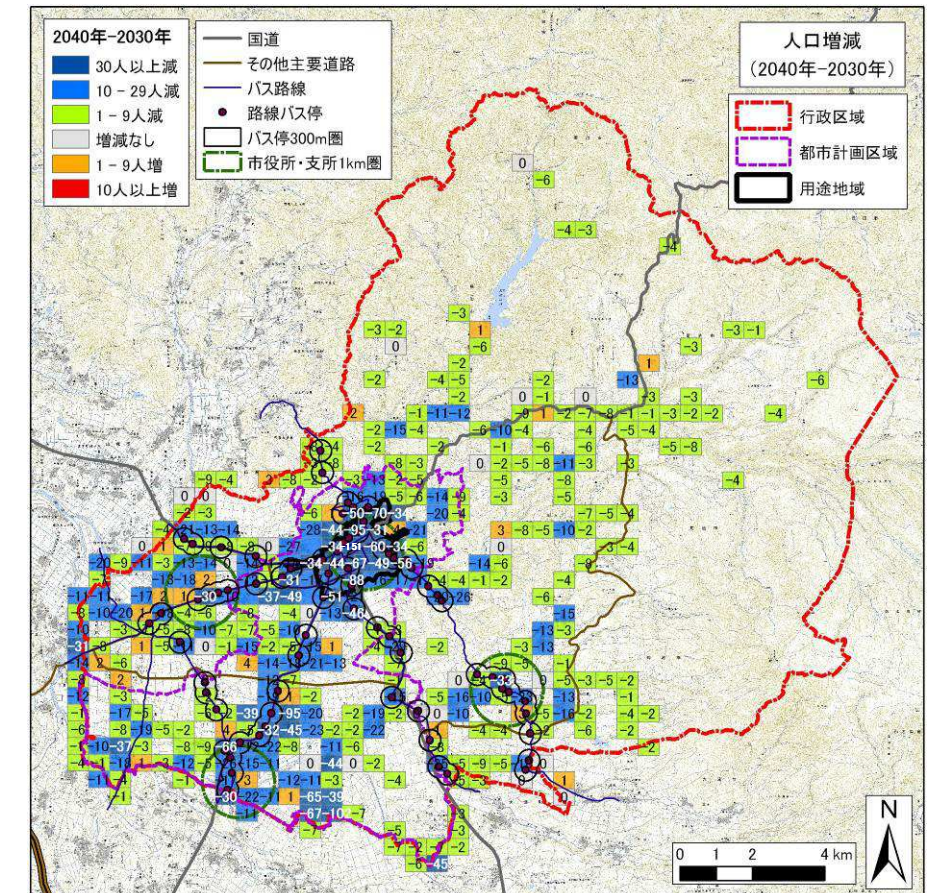
■2010年全市人口 50,194人 2020年-2010年 (-3,789人/-15.0%)



■2030年-2020年 (人/-9.0%)



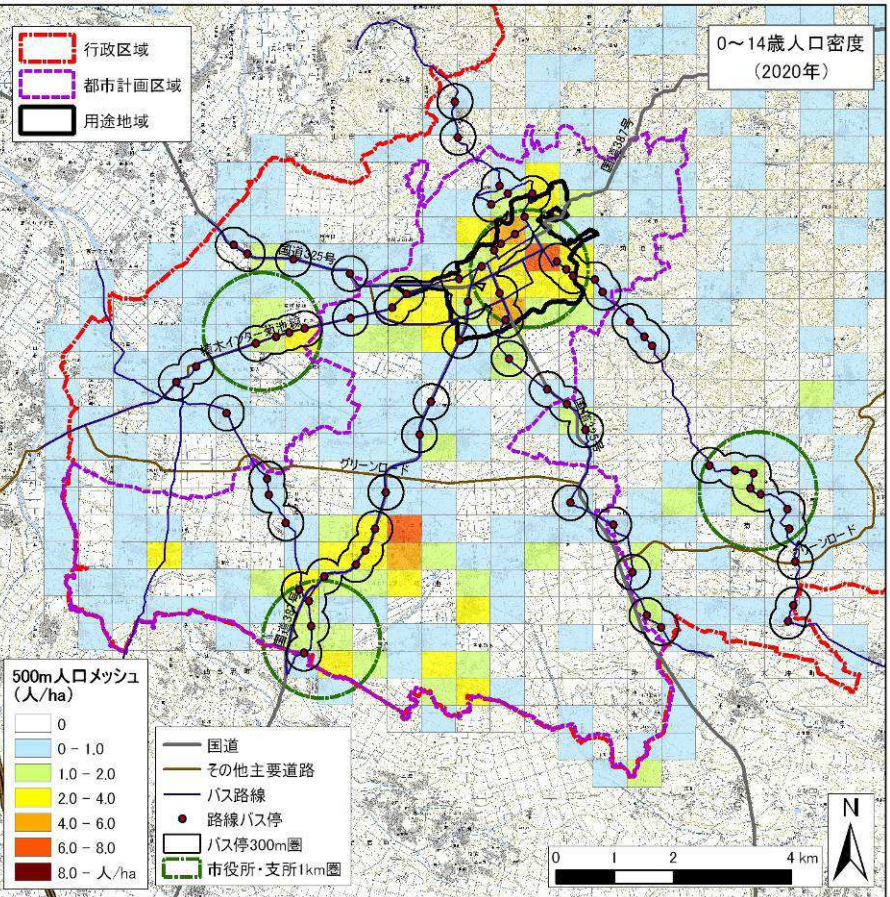
■2040年-2030年 (-4,384人/-10.4%)



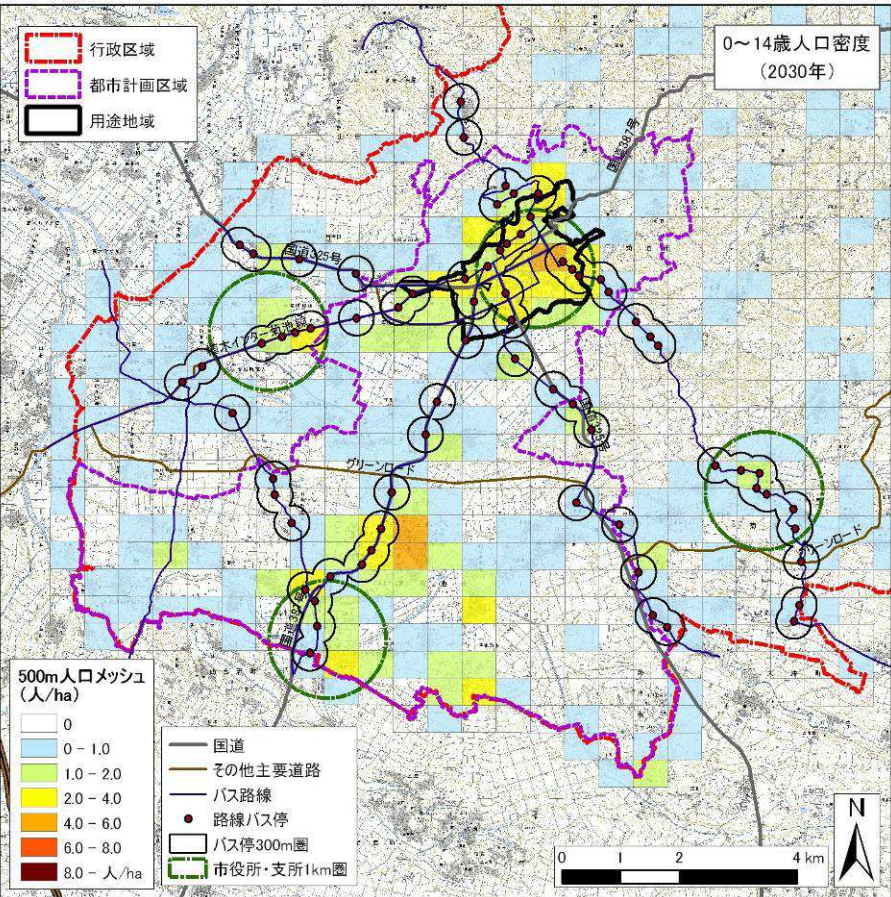
【0～14 歳人口の将来人口予測（500m メッシュ）】

- ・ 2020 年→2030 年は限府地区や泗水支所周辺など人口が多いところで多く減少する。
- ・ 2030 年→2040 年の減少メッシュは少なくなる。

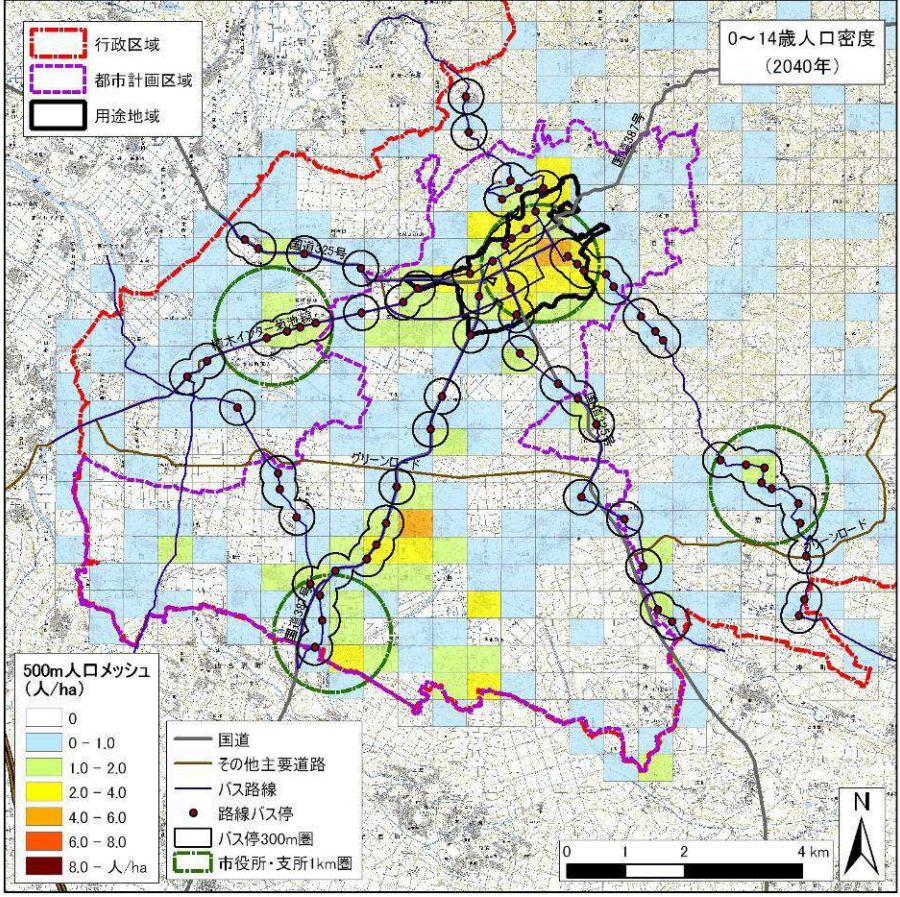
■2020 年 全市 (5,753 人)



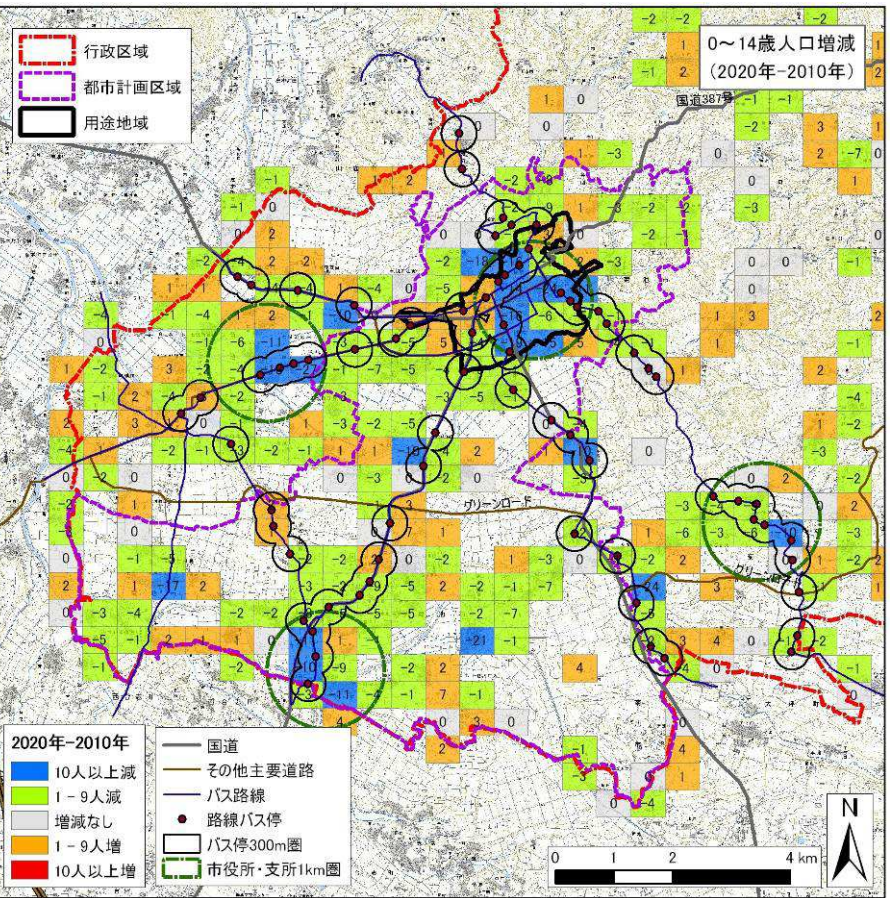
■2030 年 全市 (4,819 人)



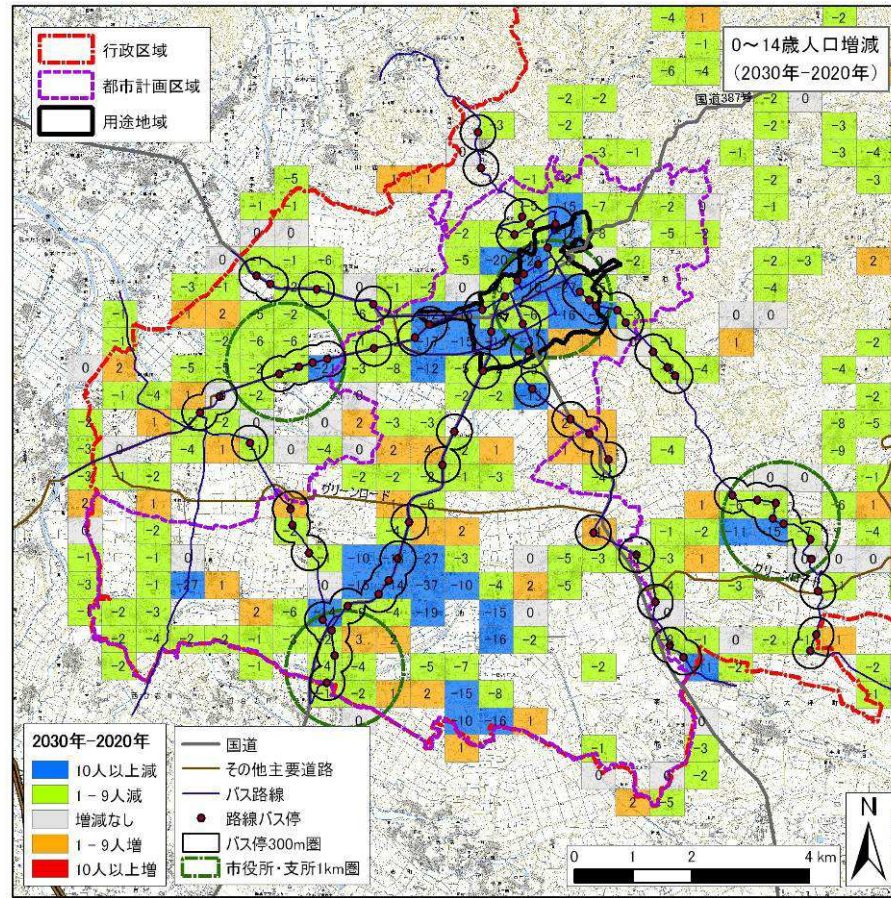
■2040 年 全市 (4,309 人)



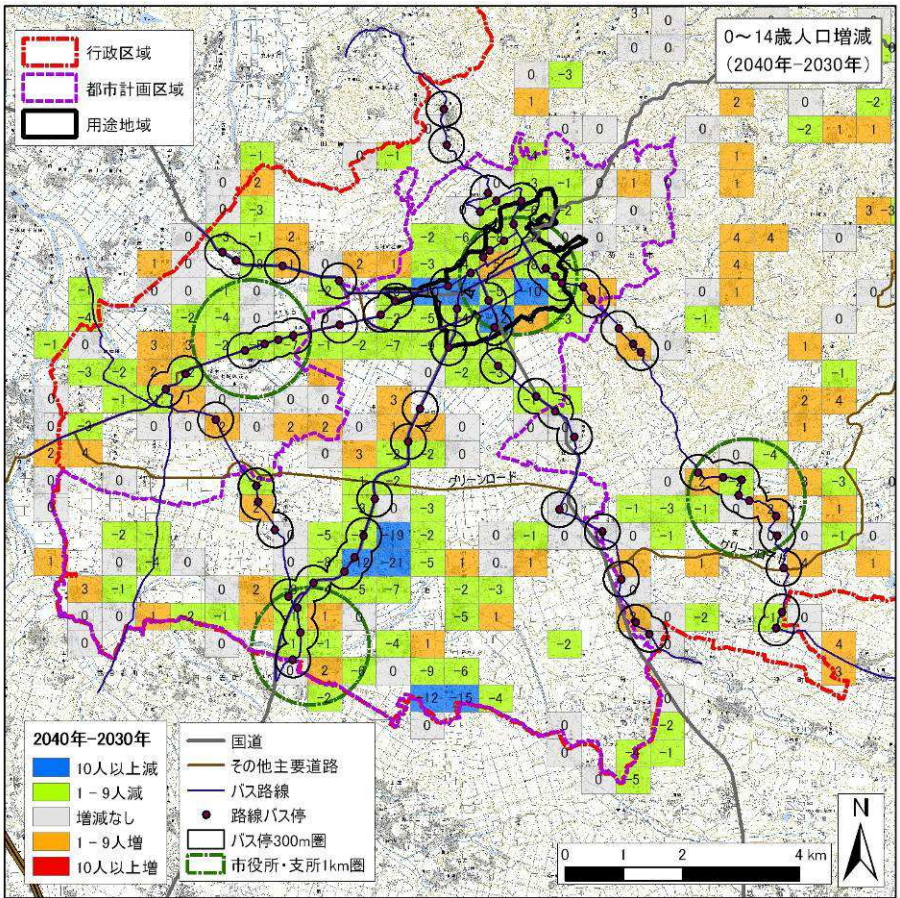
■2010 年 0～14 歳全市人口 6,749 人 2020 年-2010 年 (-996 人/-15.0%)



■2030 年-2020 年 (-934 人/-16.2%)



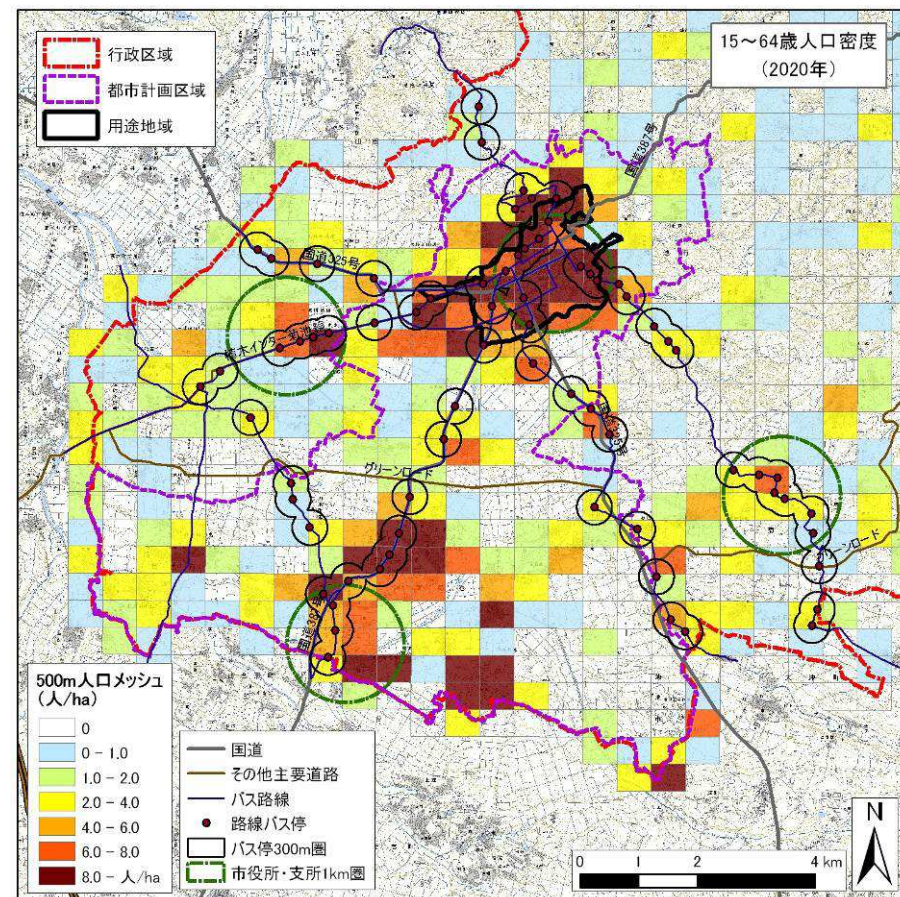
■2040 年-2030 年 (-510 人/-10.6%)



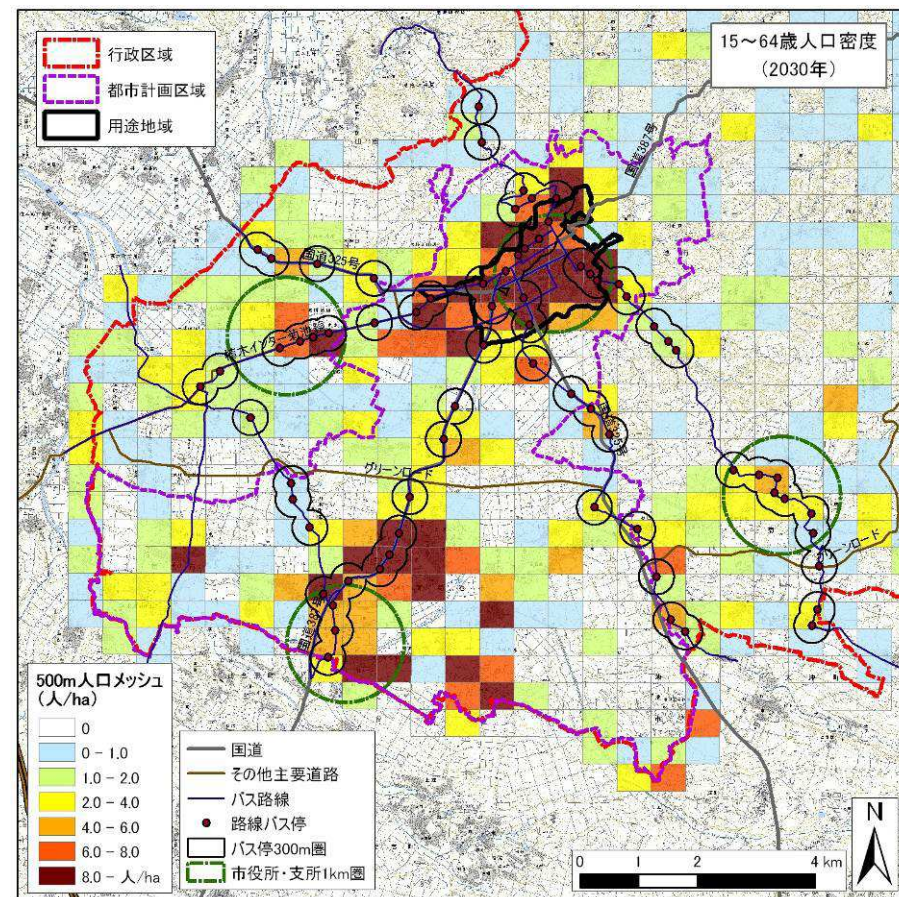
【15～64 歳人口の将来人口予測（500m メッシュ）】

- ・限府地区と泗水支所周辺に集中している。
- ・2040 年にかけて全体的な減少傾向

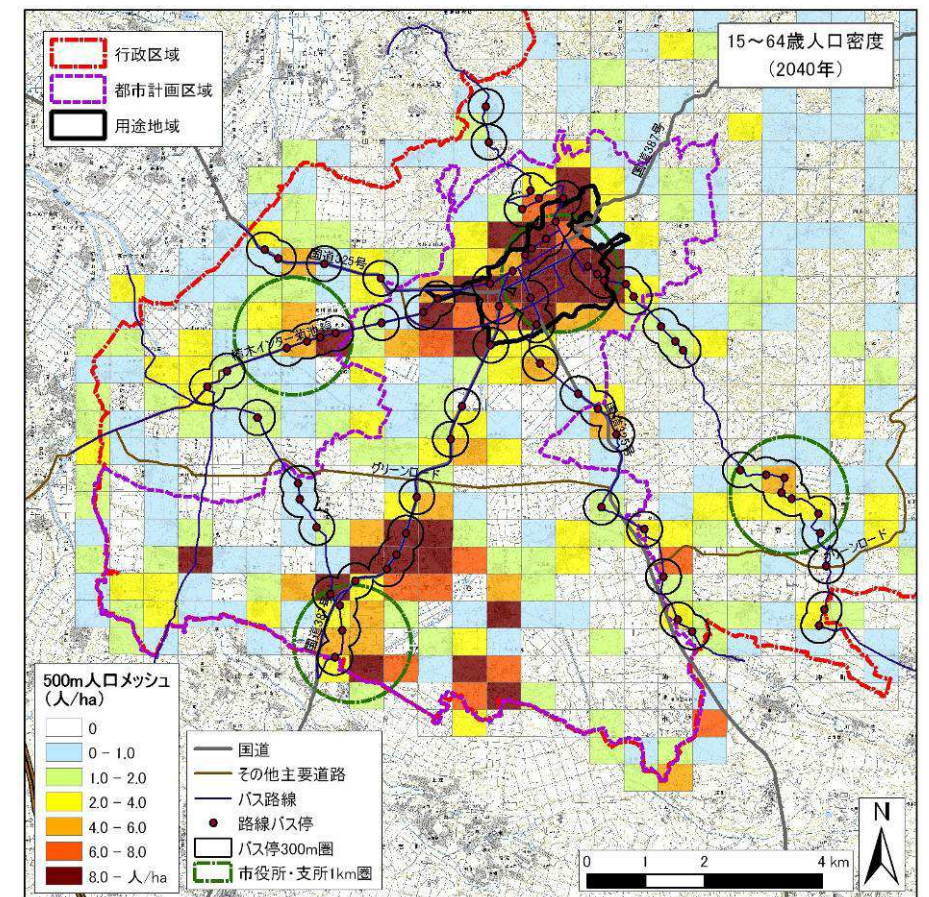
■2020 年 全市（25,056 人）



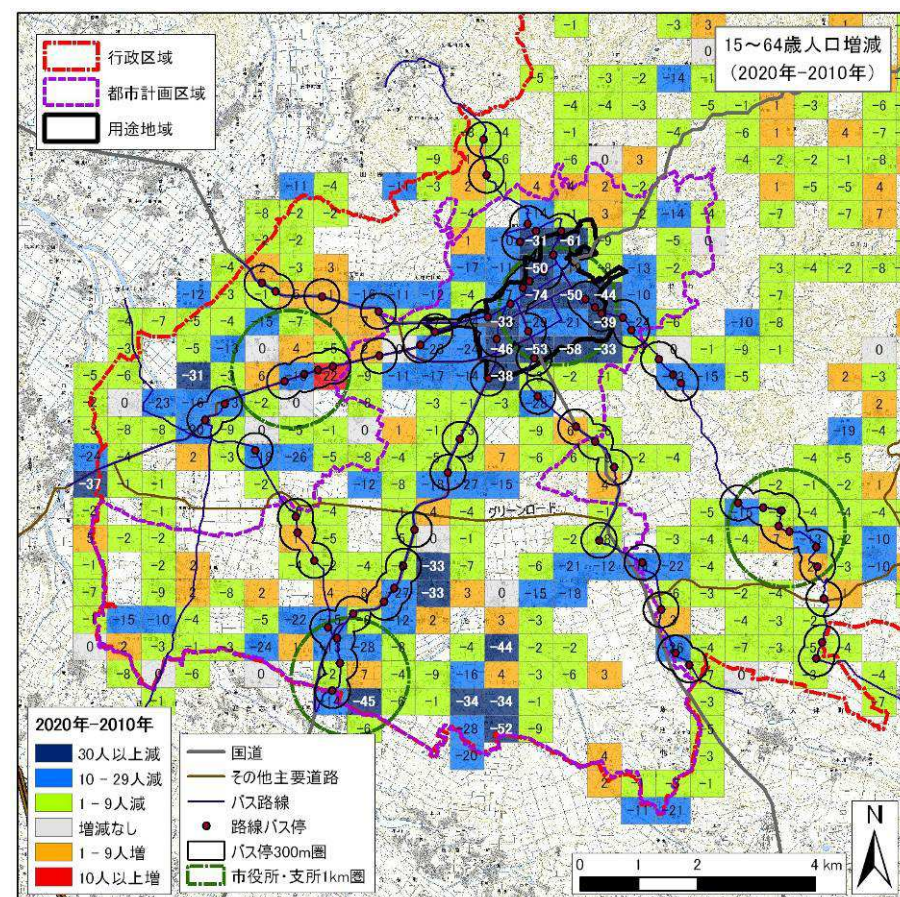
■2030 年 全市（21,997 人）



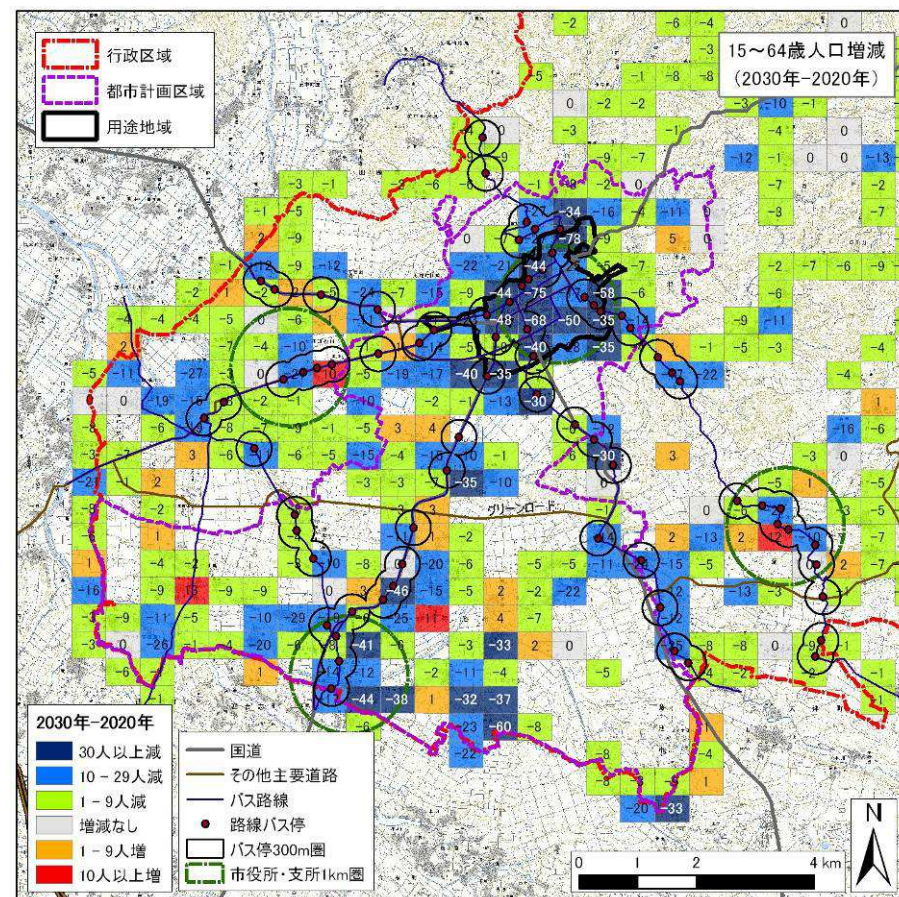
■2040 年 全市（19,654 人）



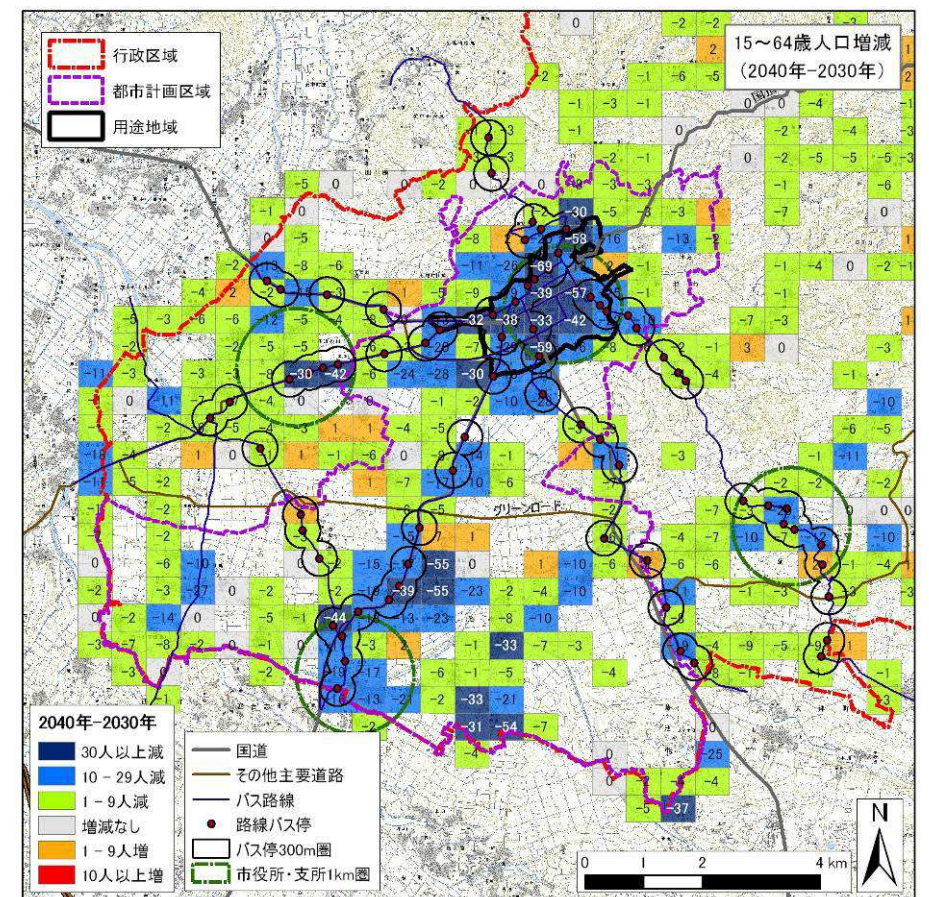
■2010 年 15～64 歳全市人口：29,598 人 2020年～2010 年（-4,542 人/-15.3%）



■2030 年～2020 年（-3,079 人/-12.2%）



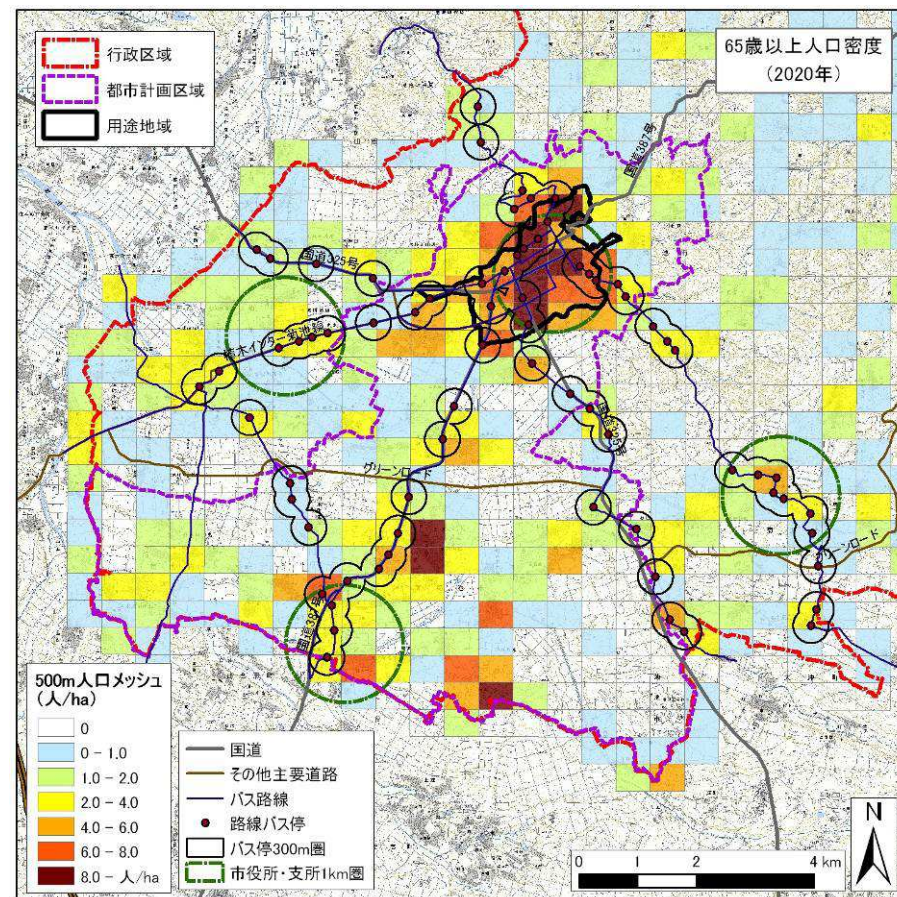
■2040 年～2030 年（-2,343 人/-10.7%）



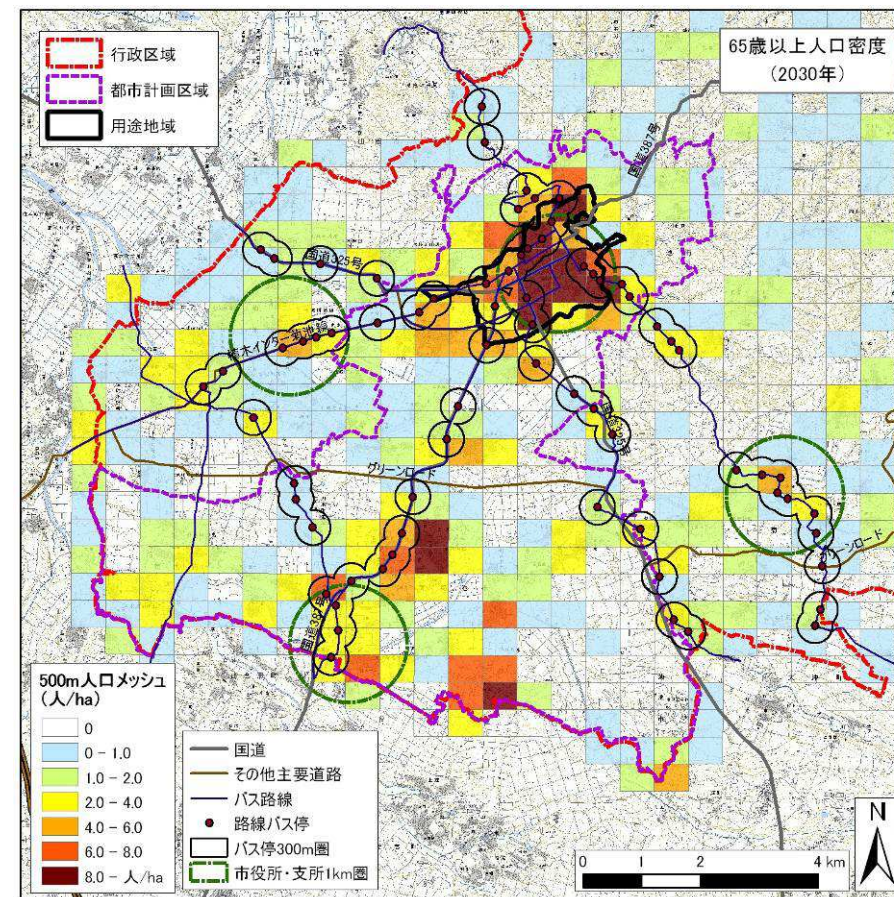
【65歳以上人口の将来人口予測（500m メッシュ）】

- ・2030年までは限府地区や泗水支所周辺で増加する傾向が強い。
- ・2030→2040年には減少するメッシュが増加する。

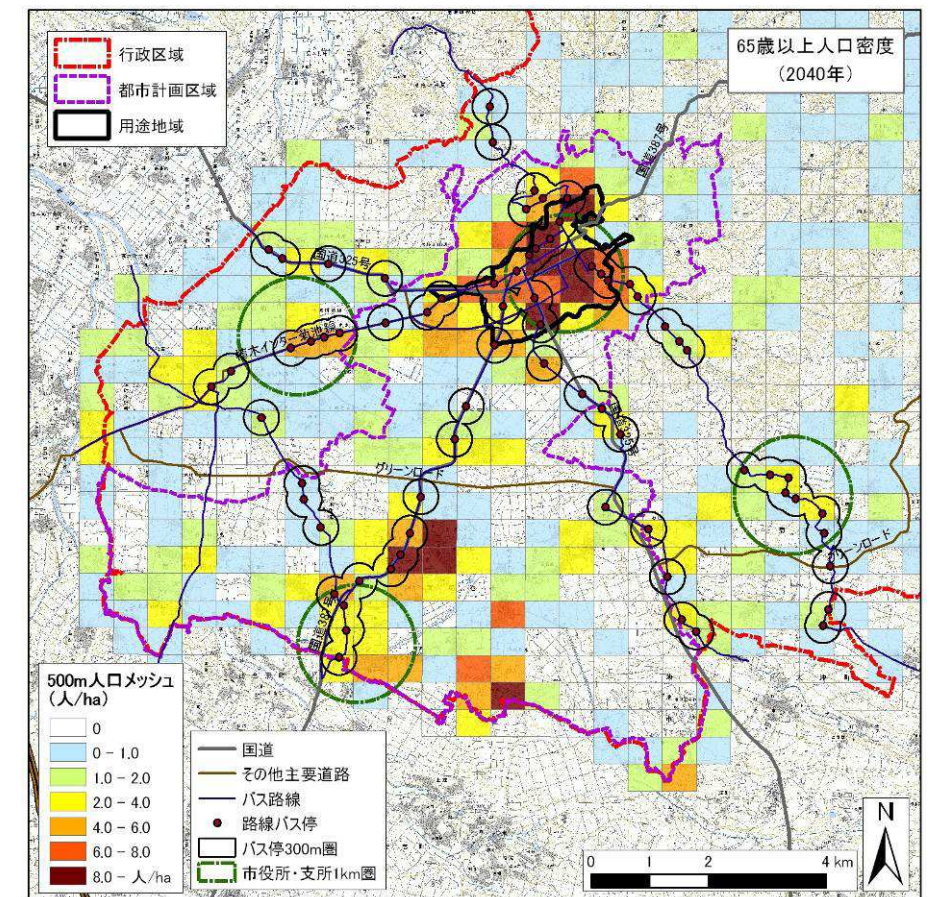
■2020年 全市（15,596人）



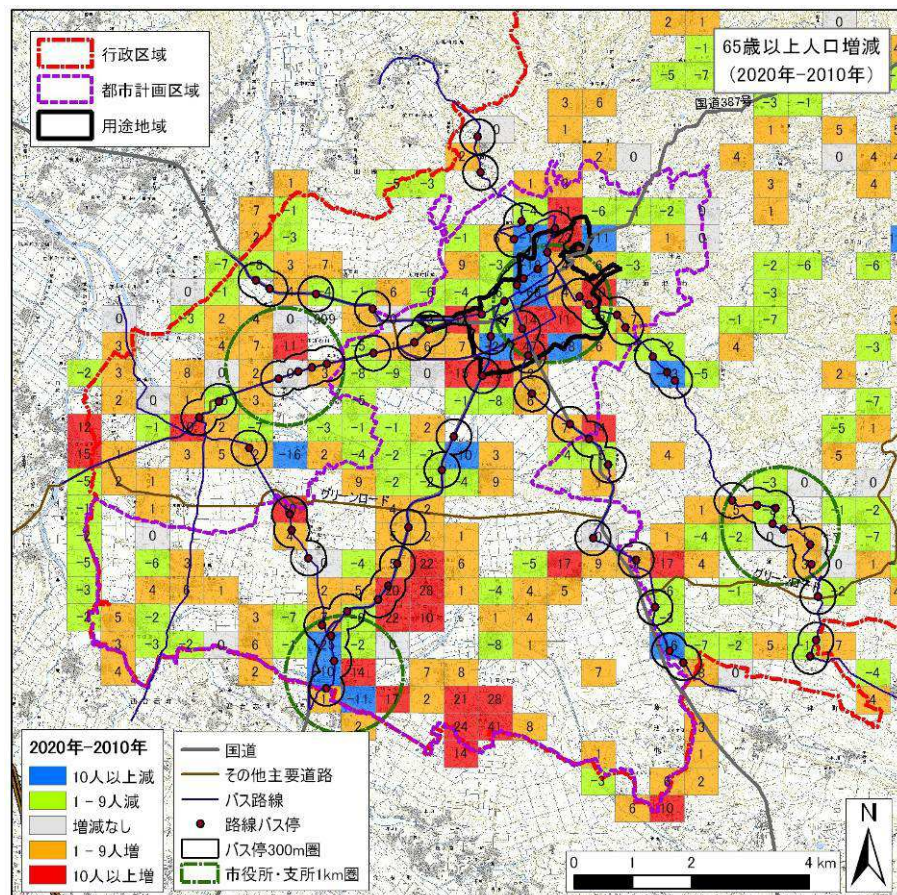
■2030年 全市（15,421人）



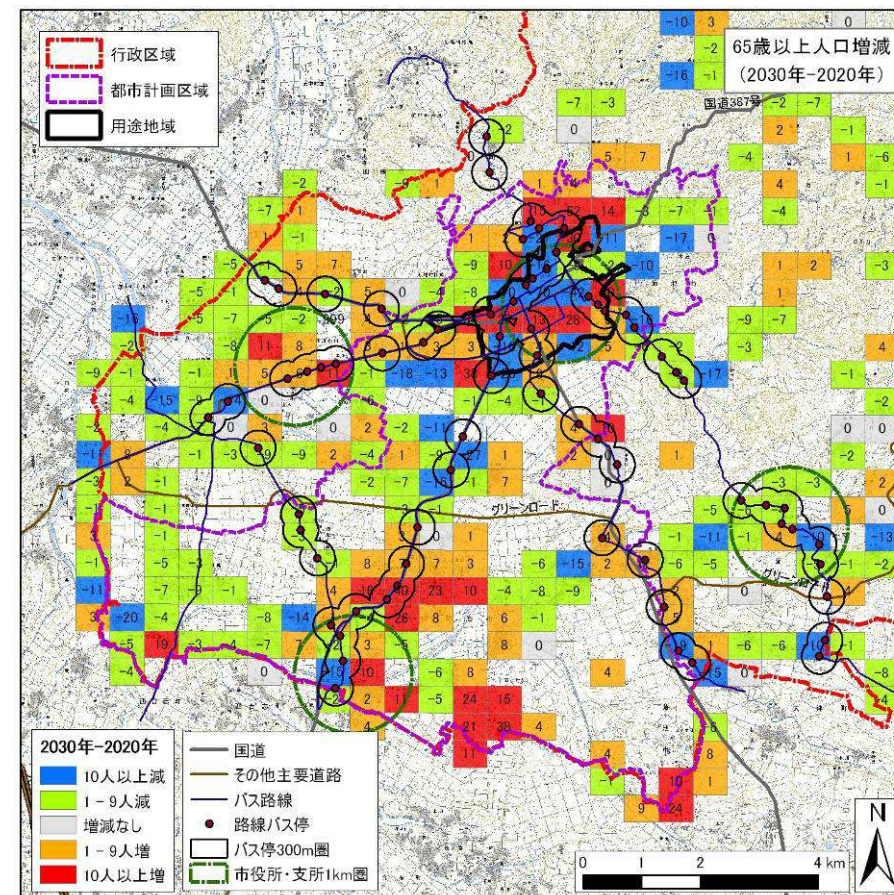
■2040年 全市（13,890人）



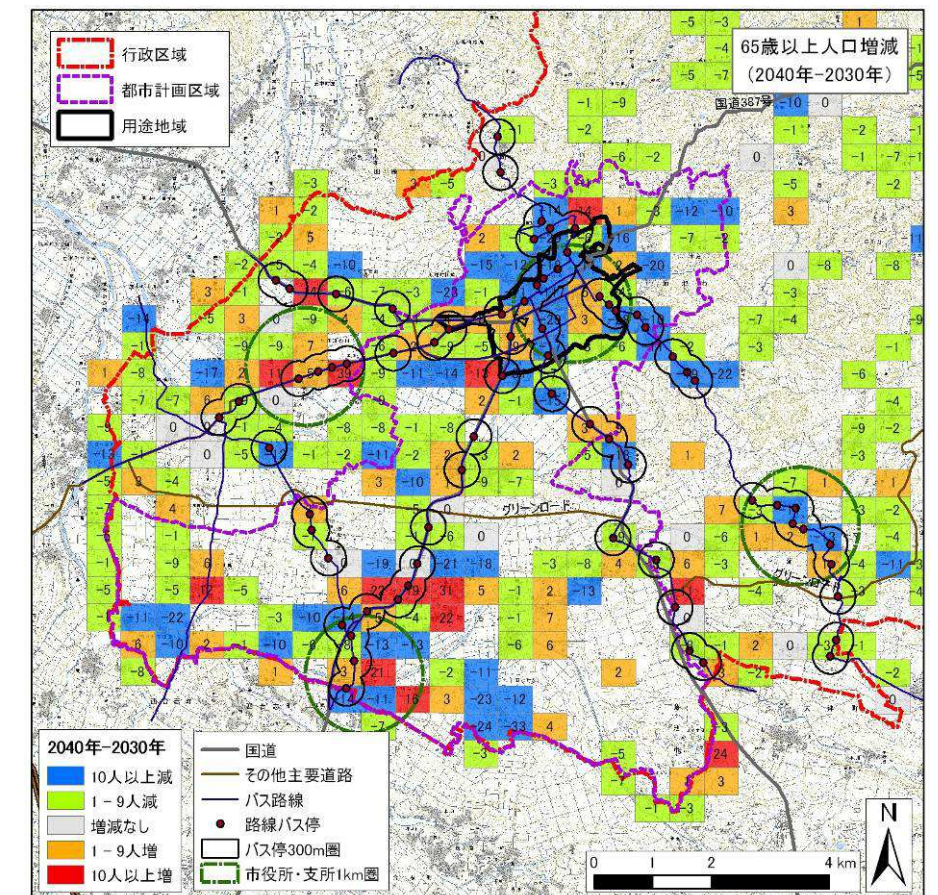
■2010年65歳以上全市人口：13,846人 2020年-2010年（-1,750人/-12.6%）



■2030年-2020年（-175人/-1.1%）



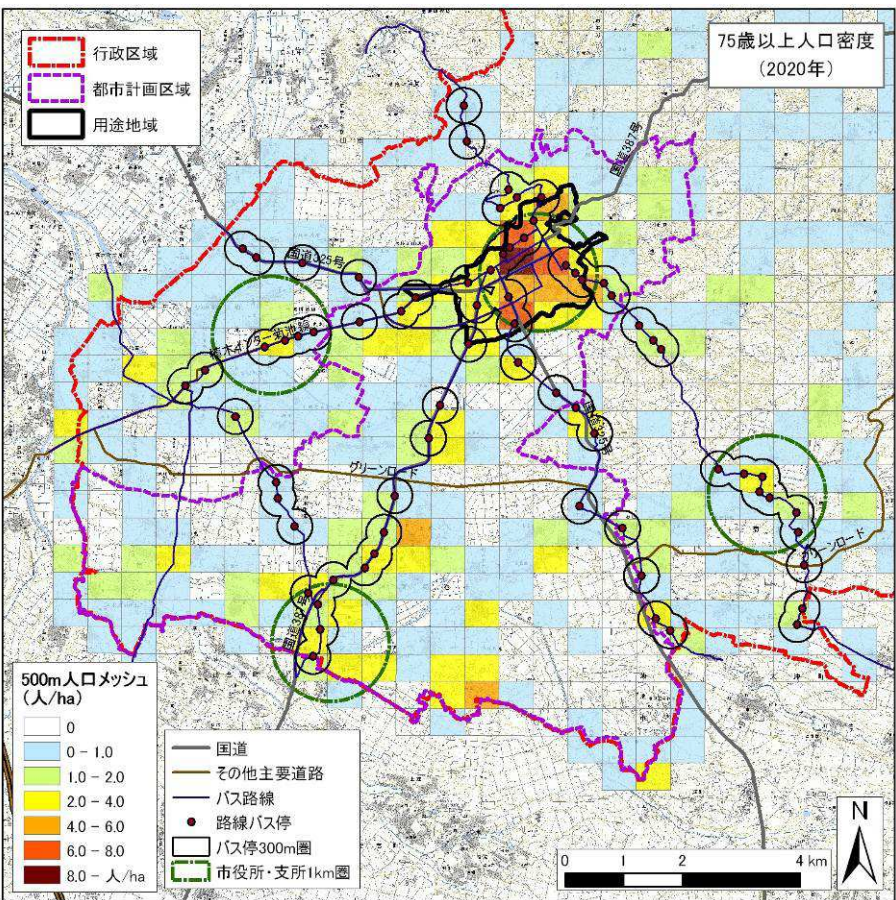
■2040年-2030年（-1,531人/-9.9%）



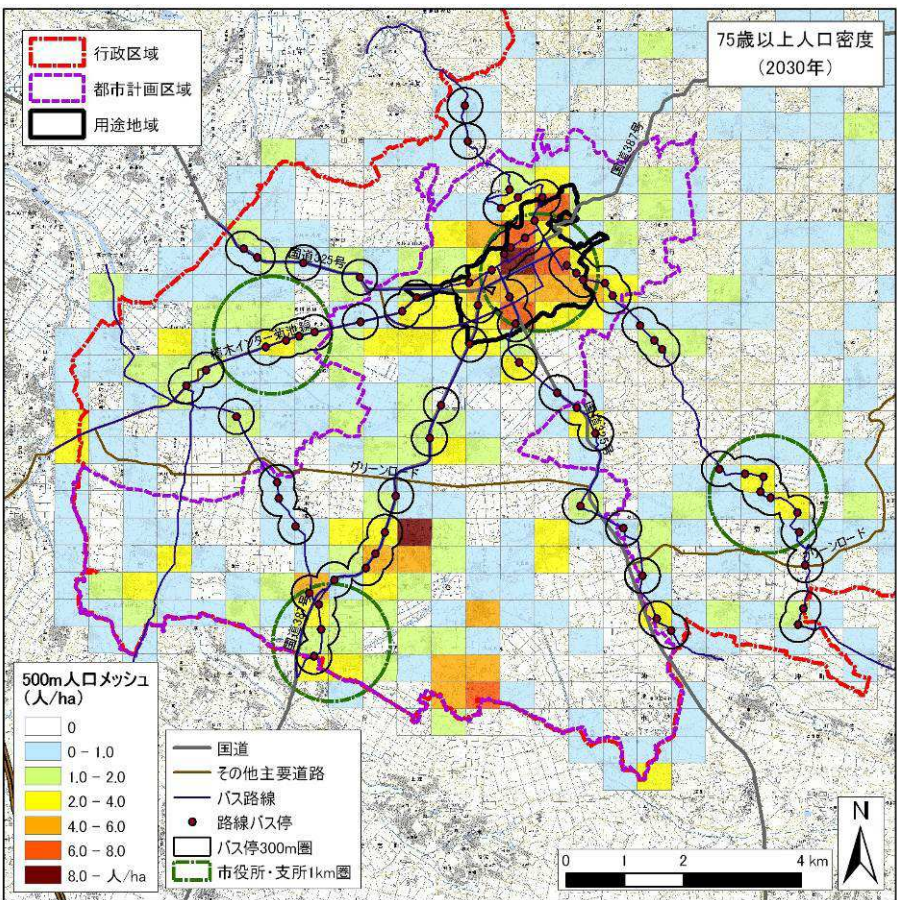
【75 歳以上人口の将来人口予測（500m メッシュ）】

- ・ 2030 年までは大きく増加する。
- ・ 2030→2040 年は減少するメッシュが多く、全市でも減少する。

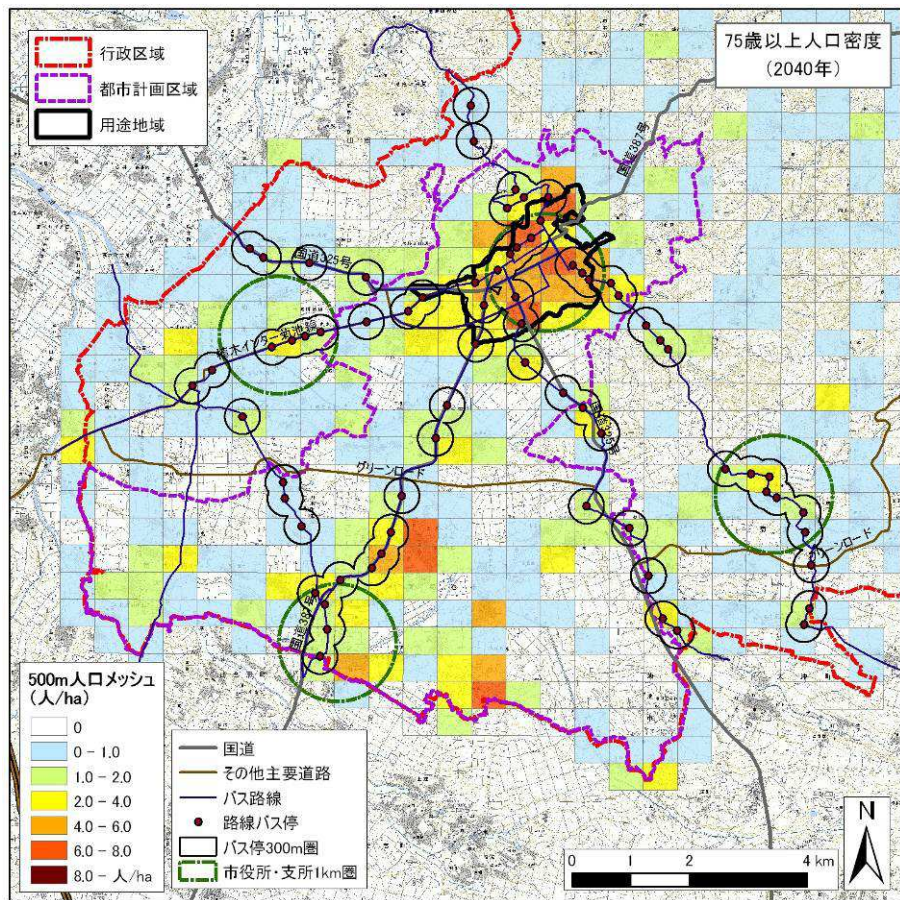
■2020 年 全市（8,359 人）



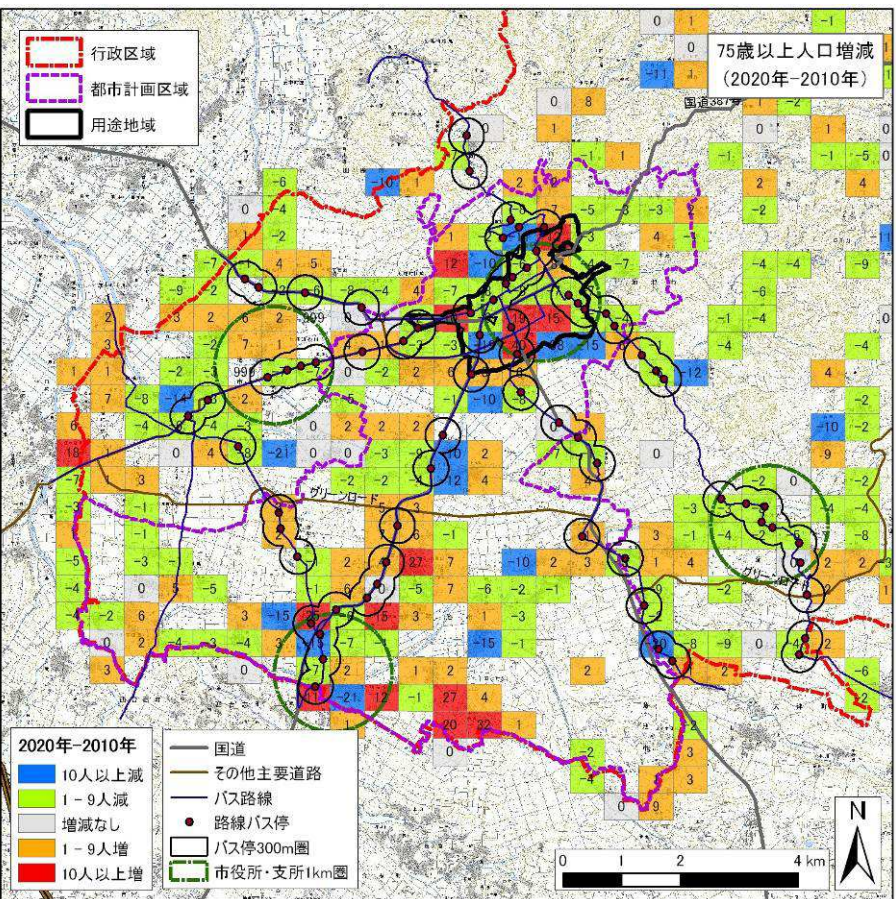
■2030 年 全市（9,612 人）



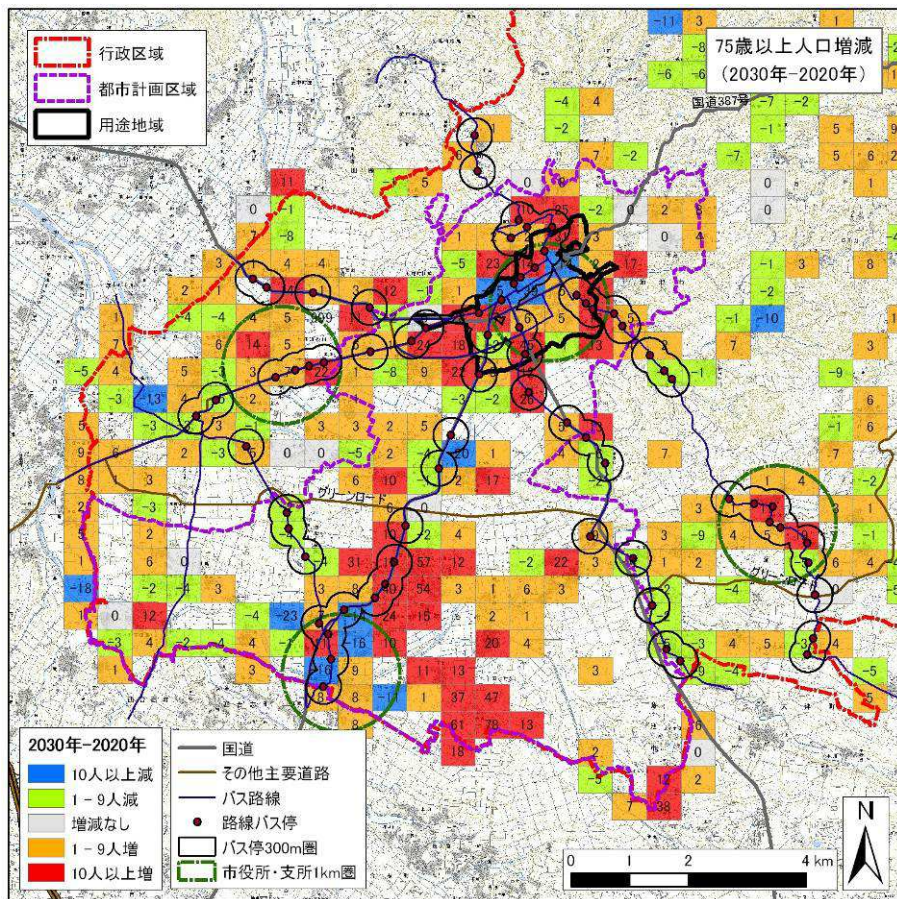
■2040 年 全市（9,313 人）



■2010 年 75 歳以上全市人口：7,882 人 2020 年-2010 年（477 人/6.0%）



■2030 年-2020 年（1,253 人/15.0%）



■2040 年-2030 年（-299 人/-3.1%）

